

第15章 東中学校西遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東中学校西遺跡は入間川の支流新河岸川に注ぐ福岡江川とさかい川の間の標高は 20.0 ~ 21.0m の低位台地に位置する。現在は平坦であるが、区画整理事業以前は遺跡の北側に、西から北東側にかけて埋没河川（現在用水路）が流れ、東側には僅かな窪地もみられた。

遺跡は埋没河川と窪地の縁に位置するが、遺構は埋没河川からやや離れた遺跡の中央部から西部にかけて分布する。周辺の遺跡は、前述した埋没河川を隔てた北側約 50m に東久保西遺跡、南東に東久保南遺跡が隣接する。

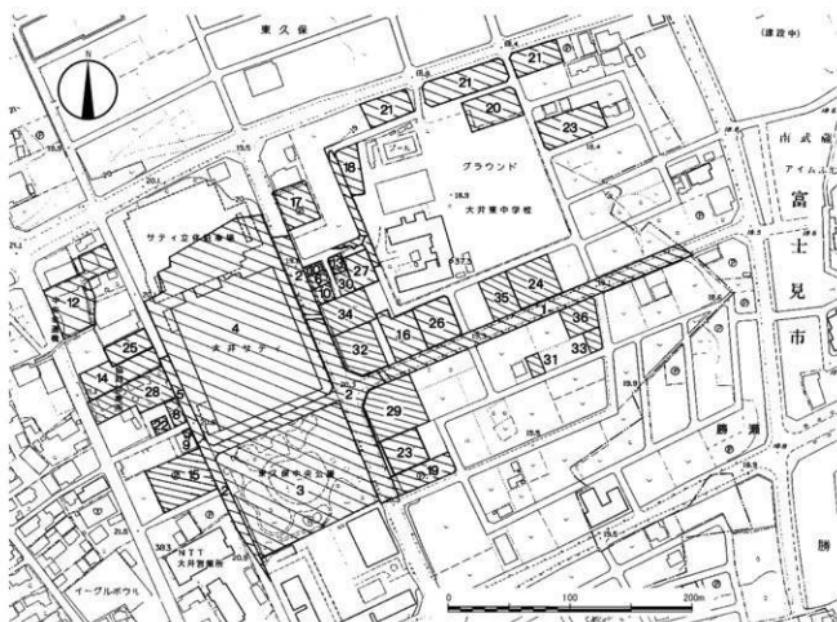
遺跡の時期は縄文時代では早期の炉穴群、縄文時代中期前葉の屋外埋甕、落とし穴や集石土坑などを検出している。中・近世では墓壙・溝・柵列などが確認されている。本遺跡の調査は 1995 年以来 2018 年 4 月現在、35ヶ所で試掘調査および発掘調査が行われている。

II 東中学校西遺跡第36地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、原因者より 2015 年 7 月 7 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 11 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.3m のトレーナー 5 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 cm である。

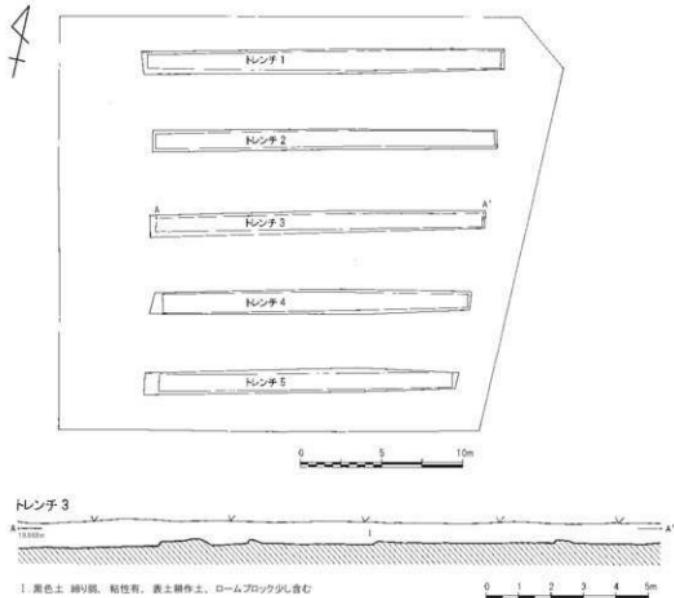
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。



第65図 東中学校西遺跡の地形と調査区 (1/4,000)

第40表 東中学校西遺跡調査一覧表

地点	所在地	測量面積(Ⅳ)は既報面積	面積(m ²)	測量面積	確認された遺構と遺物	所収集面積
1	東久保5511, 526, 531 他	1994.10.6~11.9	3,168	区画整理道路	縦穴式土坑1、ピット8	遺跡調査会報告第14集
2	東久保466-1他	1(A) 1996.10.7~11.15 1(B) 1996.12.12~17 (C) 1997.1.1~10 (D) 1997.6.13~19 (E) 1997.7.8~8.8 (F) 1996.1.18~31 (G) 1996.1.25	3,308 1,168 880	区画整理道路	縦穴式土坑26、集石土坑1、落とし穴4、土坑2、ピット26、中世の溝5	遺跡調査会報告第14集
3	東久保465, 500他	1996.8.29~9.13 1996.10.7~21	10,200	区画整理公園	縦穴式落とし穴1、溝1、土坑6、ピット4、石標1	町内遺跡群 遺跡調査会報告第14集
4	東久保326他	1997.2.6~10.29 1997.6.12~8.8	24,681	店 館	縦穴式落とし穴3、集石土坑2、厚外理壁1、近世 土塁1、溝1、細い縫隙1、ピット多数	町内遺跡群V-VI・ 遺跡調査会報告第14集
5	東久保47-1, 4/4-4他	1997.6.12~7.24	688	区画整理道路	縦穴式落とし穴1、溝2、ピット2	遺跡調査会報告第14集
6	東久保325-1, 7-8-9	1997.8.18~27	135.6	区画整理道路	縦穴式落とし穴1、溝1	遺跡調査会報告第14集
7	東久保402-1他	1997.7.31~31	636	区画整理道路	縦穴式落とし穴1、溝1、ピット5	遺跡調査会報告第14集
8	東久保446地区3-14面地	1997.8.5~9	25,194	個人住宅	縦穴式落とし穴1、溝1、ピット9、(落とし)溝5 地盤で挖出)	町内遺跡群 市内遺跡群
9	東久保465地区2-3面地	1997.8.19~9.1	324.7	個人住宅	溝2、ピット9	町内遺跡群
10	東久保465地区2-3面地	1997.12.10~20	135.19	店 館	遺跡調査なし	町内遺跡群
11	東久保446地区3-7-2面地	1998.1.6~74	1,879	店 館	遺構調査なし	町内遺跡群
12	東久保2番地12面地	1998.6.9~11	218	個人住宅	遺構調査なし	町内遺跡群
13	東久保446地区12面地	1998.6.23~26	1,251	個人住宅	ピット2、原木木構	町内遺跡群
14	東久保456地区11-20-26面地	1998.8.17~24	2,649	古墳周辺用材場	中世以降、ピット2	町内遺跡群
15	東久保456地区14-17-16面地	1998.8.17~24	1,834	個人住宅	遺構調査なし	市内遺跡群15
16	上じみ野町1-9-6-7	2013.2.18~22	1,347	古墳周辺用材場	ピット2	町内遺跡群
17	東久保42番地6面地	1998.8.17~31	1,131	古墳周辺用材場	縦穴式落とし穴1	町内遺跡群
18	東久保36番地7-8面地	1998.8.19~24	856	店 館	遺構調査なし	町内遺跡群
19	東久保446地区1-2面地	1999.3.17~24	854	アスベスト瓦用材場	ピット1、縫隙1	町内遺跡群
20	東久保36番地11面地	1999.6.16~19	960	区画整理道路	縫隙1、ピット2	町内遺跡群
21	東久保37番地11-1面地	1999.11.18~12.9	1,311	店 館	縦穴式落とし穴1、溝1、ピット23	町内遺跡群
22	東久保446地区15面地	2000.3.7~9	150	個人住宅	中世以降、溝1、ピット3	町内遺跡群
23	東久保13番地6面地	2003.8.5~13	1,233	共同住宅	縫隙1、ピット1	町内遺跡群X
24	上じみ野町1-6-5-6	2005.5.24~30	926	店 館	土坑1	市内遺跡群2
25	上じみ野町9-5-6	2005.6.20~7.7 2005.7.11~13	1,425	店 館	縦穴式落とし穴1、溝6.5	市内遺跡群2
26	上じみ野町9-10	2005.6.28~7.2	605	分譲邸宅	遺構調査なし	市内遺跡群2
27	上じみ野町10-10-11	2006.1.1~10	1,650	個人住宅	遺構調査なし	市内遺跡群2
28	上じみ野町10-3-9-10-4	2006.1.11~1	120	個人住宅	遺構調査なし	市内遺跡群2
29	上じみ野町1丁目1-11-14-15-37-23	2006.4.24~5.10	1,568.15	共同住宅	縦穴式落とし穴1	市内遺跡群3
30	上じみ野町4-4	2006.5.15~19~28~8.1	2,004	店 館	縦穴式落とし穴1	市内遺跡群3
31	上じみ野町10-13	2006.7.3	634	保育園	遺構調査なし	市内遺跡群3
32	上じみ野町10-12	2008.2.14	165	個人住宅	遺構調査なし	市内遺跡群4
33	上じみ野町10-12	2008.6.13~25	1,231	分譲及び住居	遺構調査なし	市内遺跡群6
34	上じみ野町10-11-12	2008.7.1~10	2,152	個人住宅	遺構調査なし	市内遺跡群6
35	上じみ野町10-8	2008.7.2~4	6,037	古墳周辺	遺構調査なし	市内遺跡群10
36	上じみ野町10-7の一部	2013.5.10~	661.42	古墳周辺	遺構調査なし	市内遺跡群20
37	上じみ野町3-9-7	2015.8.11	724	駐車場	遺構調査なし	市内遺跡群22



第66図 東中学校西遺跡第36地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第16章 西ノ原遺跡の調査

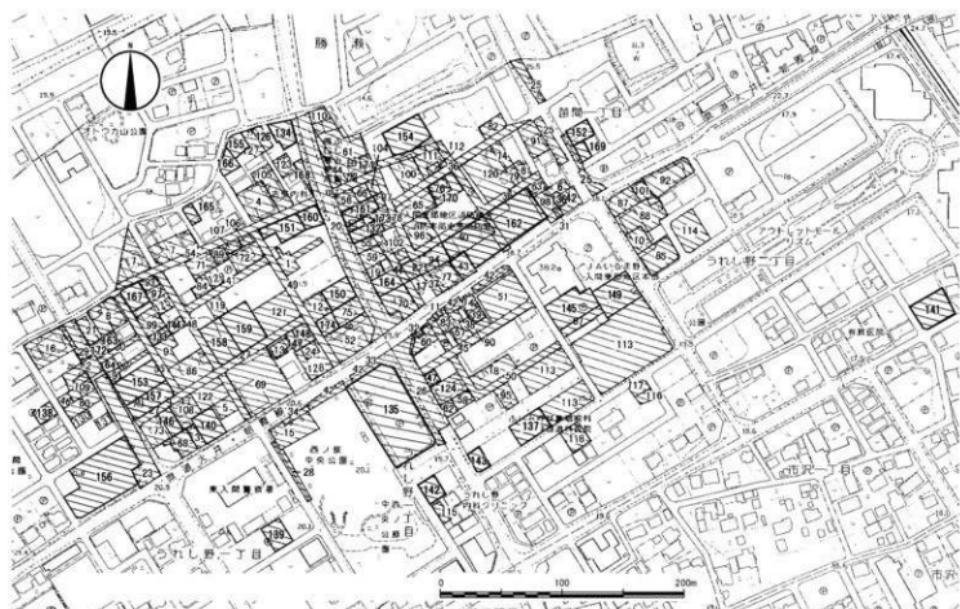
I 遺跡の立地と環境

西ノ原遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約300m、さかい川の谷頭部から約500m下った右岸、標高18～21mに位置する。さかい川は現在の富士見市勝瀬字茶立久保付近に湧水源を持つ伏流水で、西から東へ流れて入間川の支流新河岸川に注ぐ。かつては水量も豊富であったと言われるが、現在は下水路となっている。西ノ原遺跡とさかい川との高低差は2～3mで、武藏野台地縁辺で一段低い部分、さかい川が侵食によって作り出した低位台上に立地する。

周辺の遺跡は、下流に中沢前遺跡が隣接し、さらに下流域には神明後遺跡、苗間東久保遺跡、浄禅寺跡遺跡等縄文時代の集落が存在する。さかい川対岸には東

久保南遺跡と富士見市のオトウカ山があり、その下流には縄文時代中期後半集落の中沢遺跡が広がる。

本遺跡は昭和40年代頃までは武藏野の面影を残す農村地帯であったが、区画整理事業とふじみ野駅の開設により、ここ数年開発の増加に伴い遺跡の破壊が進んでいる。1971年以来2018年4月現在で174地点に及ぶ調査で明らかになった遺跡の時期は、旧石器時代、縄文時代早期・中期・後期、平安時代、中世、近世である。特に縄文時代中期には、210軒を超す住居跡が環状集落として形成され、市内において東台遺跡と共に中期全般を通じ良好な大規模集落跡であったことがわかる。



第67図 西ノ原遺跡の地形と調査区(1/4,000)

第41表 西ノ原遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査範囲 (<u>山川地図</u>)	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	参考 報告書	年名 報告者
1		1971					
2	西ノ原83	1978.12.6~12.26	270	宅地造成	住居跡1、土坑1、墓石1枚	河原資	1979.1.25~
3		1979.3					
4	西ノ原125-1	1979.7.2~9	668	宅地造成	遺構なし。縄文土器1件	河原資	
5		1979.9.1~14					
6	西ノ原170-2	1980.4.19~27	450	宅地造成	土坑2、柱穴2、縄文土器1件	河原資	
7	西ノ原96-1	1980.10.1~29	563	宅地造成	白石陶器2個、縄文土器1	河原資	
8	西ノ原95-2	1980.10.30~11.14	661	宅地造成	縄文土器石斧2、土坑1、溝2、土坑1	河原資	
9	西ノ原3-1	1981.6.1~23	600		穴6個、溝2、石器、土器	河原資	
10	西ノ原180-2	1981.8.1~8	400	個人住宅	窓7つ1	河原資	
11	西ノ原14-3	1983.5.23~27	198	宅地造成	縄文土器1枚、城内土附1件	河原資	
12	西ノ原123-3	1983.7.6~8.11	310		縄文土器1件、縄文土坑19	河原資	
13	西ノ原114-6	1983.9.13~9.18	350		縄文土器1件、縄文土坑5枚、縄文土器1件	河原資	
14	西ノ原143	1983.10.1~31.7	240		縄文土器2件、縄文土坑2、土坑1、石器1、溝1	河原資	
15							
16							
17	西ノ原135-3	1985.5.19~22	165	宅地造成	縄文土坑2、溝1	河原資	
18	西ノ原141-2	1985.7.26~8.5	568	宅地造成	縄文土器1件、住居跡1、縄文土坑1	河原資	
19	西ノ原135-1	1986.7.8~21	230	住居跡	縄文土器1件、縄文土坑1、縄文土器1件	河原資	
20	西ノ原135-1	1986.11~1987.4	3,535	区画道路	縄文土器1件、中期土器12件、土器10件、石器10件、骨灰壺1件、縄文土器2件、溝10件、土坑40件	河原資	
21	西ノ原95-1	1986.12.13~1987.9	447	住宅	石器1件	河原資	
22		1987	480	資料収集	縄文土器1件、住居跡2、縄文土坑11件、ヒト骨	河原資	
23		1987.7~8	1,024	区画道路	土坑2	河原資	
24		1987			縄文土器1件、縄文土器2件、未確認	河原資	
25		1988.1~2	781	区画道路	遺構なし。	河原資	
26		1988.3~4	1,649	区画道路	白石陶器、縄文土器1件、中期土器12件、土器10件、石器10件、骨灰壺1件、縄文土器2件、溝10件、土坑40件	河原資	
27		1988.10	942	区画道路	縄文土器1件、住居跡3、縄文土坑2件、石器10件	河原資	
28		1988.11		区画道路	遺構なし。	河原資	
29		1988.12		区画道路	遺構なし。	河原資	
30		1989.2~3		区画道路	土坑1	河原資	
31	西ノ原115-1	1989.11.4~11	21	下水処理場	遺構なし。	河原資	
32	西ノ原122	1989.12.10~19	21	区画道路	縄文土器1件、後期土器1件	河原資	
33	西ノ原152-3	1989.11.10~19	21	区画道路	縄文土器1件、後期土器1件	河原資	
34	西ノ原171	1989.12.4~31	21	区画道路	縄文土器1件、後期土器1件	河原資	
35		1990.2~3	4,000	区画道路	縄文土器1件、土坑1	河原資	
36		1989.3~4		区画道路	縄文土器1件、縄文土坑5件、土坑1	河原資	
37		1989.5~6	200	区画道路	遺構なし。	河原資	
38	西ノ原142-2	1989.8.29~9.12	74	個人住宅	縄文土器1件、土坑1	河原資	
39	西ノ原142-2	1989.9.29~9.12	94	個人住宅	土坑2、溝2	河原資	
40		1989.9.16~10.16	980	消防署新築	縄文土器1件、後期土器4、土坑4、隼巣	河原資	
41		1989.9~10	476	区画道路	縄文土器1件、後期土器4、土坑1	河原資	
42		1991.12~1992.7	3,000	区画道路	鶴井住居跡2、土坑2	河原資	
43	西ノ原153-3	1990.3.26~7.9	272	個人住宅	縄文土器1件、後期土器4、土坑3	河原資	
44		1990.6~8	3,224	区画道路	鶴井住居跡14、土坑1、土坑6、溝2、土坑2、隼巣6	河原資	
45		1991.2		区画道路	遺構なし。	河原資	
46	西ノ原112	1991.4~9~10	199	個人住宅	遺構なし。土器のみ	町	
47	西ノ原16-2	1991.7.15~7.26	141	個人住宅	遺構なし。石器、土器、土器のみ	町	
48		1991.9~10	2,610	区画道路	縄文土器1件、後期土器2件、土坑1	河原資	
49		1991.12~1992.1		区画道路	縄文土器1件、後期土器12件、土坑1~3、土坑10	河原資	
50		1991.11~12		区画道路	縄文土器1件、後期土器5件、後期土器1件、土坑3	河原資	
51	西ノ原153-2	1991.2.4~12	1,190	モルタルーム	縄文土器1件、後期土器2件、縄文土器1件、土坑1	河原資	
52	西ノ原122	1991.7.10~20	984	ガソリンスタンド	縄文土器1件、後期土器14件、隼巣7件、土坑1件、鶴井住居跡1件、ヒト骨1件	河原資	
53	西ノ原133-2	1992.6	261	サザン住宅	遺構なし。土器1件、土坑1	河原資	
54		1992.5~7		区画道路	遺構なし。縄文土器若干	河原資	
55	西ノ原135-2	1992.5.21~6.23	241	駐車場	縄文土器1件、後期土器2件、土坑6件、土器1件	河原資	
56	西ノ原133-2	1992.6.23~7.26	261	分譲住宅	隼巣1件、土坑1件、土坑2件、ヒト骨1件	河原資	
57	西ノ原143-2	1992.7.6~9.1	174	個人住宅	縄文土器1件、後期土器2件、土坑1	河原資	
58	西ノ原137-2	1992.9.8	146	個人住宅	遺構なし。縄文土器若干	河原資	
59	西ノ原135-1	1992.10.6~11.12	494	個人住宅	縄文土器1件、後期土器2件、土坑1件、土器1件	河原資	
60	西ノ原136-2	1992.12.10~20	253	個人住宅	縄文土器1件、土坑1件、ヒト骨1件、溝1件	河原資	
61	西ノ原	1993.2	2,340	区画道路	早期土器1件、溝1件、土坑1件、土坑2件	河原資	
62							
地點	所在地	調査範囲 (<u>山川地図</u>)	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	参考 報告書	年名 報告者
63	西ノ原162-3	1993.1.15~22	147	共同住宅	中(近世)ビット群、遺物なし	河原資	
64	西ノ原4-1	1993.2.7~28	327	共同住宅	古式-古代系、朝鮮土器	河原資	
65	西ノ原145-1	1993.6.7~21	615	共同住宅	朝鮮土器	河原資	
66	西ノ原133-2	1993.6.30~7.19	474	共同住宅	古代系、縄文土器	河原資	
67	西ノ原159-2	1994.1.20~21	308	古墳	縄文中期土器	河原資	
68	西ノ原1-2	1994.3.22~25	285	共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
69	西ノ原106	1994.4.2~27	1,821	古墳	中期中期住居跡28、土坑1件、ヒト骨1件	河原資	
70	西ノ原136	1994.5	551	古墳	後期-古墳4、土坑14	河原資	
71	西ノ原12	1994.6~7	309	個人住宅	土器とL型1	河原資	
72	西ノ原120	1994.11.2~28	321	個人住宅	縄文中期住居跡3件、土坑2件、溝2件	河原資	
73	西ノ原2-1	1994.3.27~29	274	個人住宅	遺構遺物なし	河原資	
74	西ノ原163	1994.4.21~5.13	169	事務所	ヒト骨	河原資	
75	西ノ原122	1995.2.6~23	379	事務所	中期中期住居跡17、隼巣1件、ヒト骨1件	河原資	
76	西ノ原151-2	1995.4.20~27	468	古墳	ヒト骨1件	河原資	
77	西ノ原143-2	1995.5.24~25	347	古墳	中期中期住居跡1件、土坑1件、溝1件	河原資	
78	西ノ原12-2	1995.6.20~6.26	45	古墳	縄文中期住居跡3件	河原資	
79	西ノ原162-2	1995.6.29~7.24	135	個人住宅	遺構遺物なし	河原資	
80	西ノ原10-2	1995.7.19~25	319	古墳場	遺構遺物なし	河原資	
81	西ノ原169	1995.8.2~7	223	住居付住宅	遺構遺物なし	河原資	
82	西ノ原168	1995.8.1~5	249	事務所	遺構遺物なし	河原資	
83	西ノ原136-2	1995.8.3~10.21	190	個人住宅	中期中期住居跡2件、隼巣1件、ヒト骨2件	河原資	
84	西ノ原108-10	1995.9.1~30	129	個人住宅	土坑1件、ヒト骨5件	河原資	
85	西ノ原181-3	1995.9.16~9.26	654	ナチュラル店	遺構遺物なし	河原資	
86	西ノ原112-2	1996.4.19	696	個人住宅	土坑6件、ヒト骨26件、溝2件	河原資	
87	西ノ原182-1	1996.6.14~7.17	344	学生宿	遺構遺物なし	河原資	
88	西ノ原169-1	1996.7.16~7.22	745	共同住宅	ヒト骨3件、ヒト骨2件、棚1件、落とし穴1件	河原資	
89	西ノ原112	1996.7.17~7.28	143	個人住宅	隕石、土器のみ	河原資	
90	西ノ原107-2	1996.7.31~8.30	177	個人住宅	隕石-中期住居跡2件、卯穴2件、土坑1件、溝1件	河原資	
91	西ノ原169	1996.8.1~5	477	古墳	遺構遺物なし	河原資	
92	西ノ原162-2	1996.10.23~26	664	共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
93	西ノ原165	1996.10.22~23	141	分譲住宅	遺構遺物なし、土片圓のみ	河原資	
94	西ノ原145-2	1996.11.11~12.15	165	個人住宅	遺構遺物なし、土片圓のみ	河原資	
95	西ノ原154	1996.11.14~19.10	283	商業ビル	鉢	河原資	
96	西ノ原441	1996.12.7~27	333	個人住宅	中期中期住居跡2件、卯穴2件、土坑1件、ヒト骨3件	河原資	
97	西ノ原12-2	1997.1.15~20	261	古墳	遺構遺物なし	河原資	
98	西ノ原122	1997.1.16~20	141	分譲住宅	遺構遺物なし	河原資	
99	西ノ原171-2	1997.1.31	206	個人住宅	土器1件、保存	河原資	
100	西ノ原17-1	1997.1.20~24	396	個人住宅	土坑1件、落とし穴1件、ヒット2件、溝1件	河原資	
101	西ノ原150-2	1997.1.22~20	177	個人住宅	ヒト骨2件、溝2件	河原資	
102	西ノ原150-2	1997.1.22~20	177	個人住宅	モルタル2件	河原資	
103	西ノ原16-1	1998.1.6~17	223	個人住宅	隕石、溝	河原資	
104	西ノ原122-2	1998.10.6~11.3	565	共同住宅	中期中期住居跡1件、卯穴1件、溝2件	河原資	
105	西ノ原125-2	1998.11.3~12.3	565	共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
106	西ノ原112	1998.11.23~24	135	個人住宅	ヒト骨1件、ヒット1件	河原資	
107	西ノ原12-2	1998.12.23~12.31	135	個人住宅	ヒト骨1件、土器2件	河原資	
108	西ノ原1-1	1999.1.1~9.1	413	個人住宅	遺構住居跡1件、土坑1件、近世漢造	河原資	
109	西ノ原3-4	1999.3.1~4.17	429	店舗付共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
110	西ノ原16-2	1999.4.20~5.20	385	旅館	遺構遺物なし	河原資	
111	西ノ原155-2	1999.6.20~9月	1,998	共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
112	西ノ原155-2	1999.10.23~11月	274	個人住宅	遺構遺物なし	河原資	
113	西ノ原169-3	1999.4.5~12.14	2,817	古墳	遺構遺物なしのヨニット、中期中期住居跡2件、卯穴2件、土坑1件、ヒト骨1件、土器1件、ピット2件	河原資	
114	西ノ原19-1	1999.8.4~12	676	駐車場	遺構遺物なし	河原資	
115	西ノ原155-2	1999.9.27~10.29	135	事務所	遺構遺物なし	河原資	
116	西ノ原155-5	1999.12.3~12.31	319	個人住宅	遺構遺物なし	河原資	
117	西ノ原155-2	1999.12.23~12.27	354	個人住宅	ヒット1件、近世漢造1件、道	河原資	
118	西ノ原155-2	1999.12.25~12.26	144	個人住宅	近世漢造のみ	河原資	
119	西ノ原169-3	1999.12.3~12.14	2,817	古墳	近世漢造のみのヨニット、中期中期住居跡2件、卯穴2件、土坑1件、ヒト骨1件、ピット2件	河原資	
120	西ノ原14-8	2000.1.15~12.26	221	古墳	遺構遺物なし	河原資	
121	西ノ原155-2	2000.1.20~2月	1,120	共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
122	西ノ原155-2	2000.1.27~1月	803	個人住宅	遺構遺物なし	河原資	
123	西ノ原144-2	2002.3.7~2月	593	共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
124	西ノ原144-2	2002.6.3~12月	2,003	共同住宅	遺構遺物なし	河原資	
125	西ノ原159-1	2002.8.5~9月	252	個人住宅	遺構遺物なし	河原資	

地点	所在地	調査期間	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 資料	地点	所在地	調査期間	面積 (m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収 資料
124	西ノ原13-7	[2002.10.24~2002.10.25]	524	個人住宅	城文中朝住跡1、土坑2、溝2	町役場	131	西ノ原14-16	[2013.1.25~2014.1.25]	111	個人住宅	城文中朝住跡1、土坑本体1	市役所
125	西ノ原1-8	[2002.12.14~19]	182	個人住宅	ビット5	町役場	132	西ノ原14-19	[2012.8.26~2013.8.27]	107	個人住宅	城文中朝住跡1、鐵土器・石器	市役所
126	西ノ原13-8-7	[2004.1.25~25]	355	個人住宅	遺構無なし	町役場	133	西ノ原14-17	[2013.7.1~26]	111	個人住宅	城文中朝住跡1、土坑3、ビット2、鐵土器・石器	市役所
127	西ノ原1-14-9-7	[2004.1.24~25]	327	個人住宅	遺構1	町役場	134	西ノ原14-1	[2012.1.25~27]	467	分譲住宅	真5、文士瓦・瓦片	市役所
128	西ノ原16-10-10	[2004.7.16~17]	614	店舗	10.ビット17	町役場	135	西ノ原12-3	[2012.1.27~31]	324	分譲住宅	遺構無なし	市役所
129	西ノ原11-5	[2004.9.30~10.7]	235	共同住宅	城文中朝住跡1	町役場	136	西ノ原1-2-部	[2012.5.28~30]	951	共同住宅	城文中朝住跡1、鐵土器・石器	市役所
130	西ノ原1-8	[2004.10.4~19]	116	個人住宅	遺構無なし	町役場	137	西ノ原1-2-3	[2011.10.24~28]	84	共同住宅	遺構なし、鐵土器・瓦片	市役所
131	西ノ原1-5-13	[2004.10.22]	97	個人住宅	遺構無なし	町役場	138	西ノ原1-13-3-25	[2013.10.21~22]	234	分譲住宅	城文中朝住跡1、土坑1、土器2、鐵土器・石器	市役所
132	西ノ原1-15-17	[2005.7.28~8.2]	272	立派な邸宅	城文中朝住跡1、穴井7、土坑	調査B1	139	西ノ原1-17-1-2	[2013.11.20~25]	234.5	底塗工場	城文中朝住跡1、鐵土器・遺構無し	市役所
133	西ノ原1-8-8	[2005.10.13~12]	176	個人住宅	遺構なし、土器箱	市役所	140	西ノ原1-13-8	[2005.10.16~17]	120	立派な邸宅	城文中朝住跡1、土器2	市役所
134	西ノ原1-13-8	[2005.10.16~17]	346	立派な邸宅	遺構なし	市役所	141	西ノ原1-6-5	[2013.12.19~17]	662	分譲住宅	遺構無なし	市役所
135	西ノ原1-5-2	[2005.11.4~28]	3,341	立派な邸宅	城文中朝住跡1、穴井1	市役所	142	西ノ原15-6-9-7	[2014.1.3~4]	73	共同住宅	城文中朝住跡1部桿柱、薪木軒	市役所
		[2006.5.29~6.19]					143	西ノ原1-15-8	[2014.3.20~210]	869	共同住宅	城文中朝住跡1ラブラン、ボーリング	市役所
136	西ノ原1-13-22*	[2006.6.23]	62,96	学生寮	遺構無なし	市役所	144	西ノ原1-14-2	[2014.4.15~16]	309	駐車場	土坑1、鐵土器・石器	市役所
137	西ノ原1-22-7-7	[2006.8.3~7]	861	共同住宅	遺構無なし	市役所	145	西ノ原1-15-17	[2014.6.17~25]	442	個人住宅	城文中朝住跡2、土坑1、土器2、石器片、石器	市役所
138	西ノ原1-4-7-8	[2006.11.21~22]	247.3	個人住宅	遺構無なし	市役所	146	西ノ原1-13-2-2	[2014.8.29~94]	2526.76	警察署	真1、土坑不規、中近世以降、土器2	市役所
139	西ノ原1-4-5-6	[2007.2.1]	474	立派な邸宅	遺構無なし	市役所	147	西ノ原1-2-10	[2015.2.2~3]	148.96	個人住宅	遺構なし、土器片	市役所
140	西ノ原1-4-5-6	[2007.3.10]	487	立派な邸宅	遺構無なし	市役所	148	西ノ原1-15-1-8	[2015.5.11~18]	647	駐車場	苗字、土器1、土坑1、土器2、土器3、石器	市役所
141	西ノ原1-8-8	[2007.5.28~9]	735	立派な邸宅	遺構無なし	市役所	149	西ノ原1-12-1	[2015.9.30~31]	160	個人住宅	遺構なし、土器片	市役所
142	西ノ原1-6-1-2	[2008.4.4~7]	299.0	書道館(248)	遺構無なし	市役所	150	西ノ原1-13-17-7	[2015.11.5]	212.01	分譲住宅	遺構無なし	市役所
143	西ノ原1-7-7	[2009.3.23]	287	書道館(25)	遺構無なし	市役所	151	西ノ原1-8-1	[2015.11.9~10]	349	駐車場	遺構なし、土器片	市役所
144	西ノ原1-11	[2009.3.28~35]	155	立派な邸宅	遺構無なし	市役所	152	西ノ原1-13-20-3	[2015.10.21~23]	76.8	駐車場	遺構無なし、(近10ノ原遺跡第1号)、土器片	市役所
145	西ノ原1-2-4	[2010.7.23~8.25]	4,938	農業施設等、施設内構造	近世以降の遺構	市役所	153	西ノ原1-15-12-5	[2016.9.10~12]	173	共同住宅	遺構無なし、(近10ノ原遺跡第1号)、土器片	市役所
146	西ノ原1-6-3	[2010.10.10~13]	246	分譲住宅	遺構無なし	市役所	154	西ノ原1-14-2-3	[2016.10.18~19]	468.36	分譲住宅	ピット4、溝1、土器、石器、骨	市役所
147	西ノ原1-16-1のもの	[2011.12.8~2012.1.18]	115	個人住宅	城文中朝住跡1、蜜石土坑1、土1、ビット50、近世以降の遺構	市役所	155	西ノ原1-4-5	[2016.11.26~27]	102.32	個人住宅	遺構無なし	市役所
148	西ノ原1-16-1のもの	[2011.1.19~21]	211	個人住宅	城文中朝住跡1、土坑1、土1、ビット50、近世以降の遺構	市役所	156	西ノ原1-7-2-2	[2017.2.17~21]	147.45	分譲住宅	ピット4、2、土器	市役所
149	西ノ原1-2-7	[2012.1.27~10]	625	農業施設等、施設内構造	近世以降の遺構	市役所	157	西ノ原1-7-1	[2017.4.14~15]	113.82	個人住宅	城文中朝住1、鐵土器	市役所
150	西ノ原1-丁目	[2012.1.23~35]	108	毛地造成	10.ビット3、土坑2、土器2、石器2	市役所	158	西ノ原1-14-12-3	[2017.5.24]	229.08	共同住宅	城文中朝住1、土坑1、鐵土器	市役所
151	西ノ原1-4-5-6	[2012.10.22~34]											

*東：大井町東部遺跡群、町：大井町町内遺跡群、町役場：大井町町内資料編1、調査：大井町道路調查会報告書、市：みずき野市内道路網

第 42 表 西ノ原遺跡住跡一覧表

目録番号	面積	平面形	埋蔵	剖面	長軸	短軸	高さ	備考	時期	文解
1	西ノ原1-4-5-6	456×1,988	○	有	○	○	○	○ 保土上土器	EII古	保土上
2	西ノ原1-6-3-6	400×400	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
3	西ノ原1-6-3-6	634×3,500	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
4	西ノ原1-6-3-6	540×4,485	○	有	○	○	○	○ ○ 113号と複合	EII古	保土上
5	西ノ原1-6-3-6	540×4,485	○	有	○	○	○	○ 111号に切られ各	EII古	保土上
6	西ノ原1-6-3-6	500×7	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
7	西ノ原1-6-3-6	440×4,450	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
8	西ノ原1-6-3-6	440×4,450	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
9	西ノ原1-6-3-6	540×4,450	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
10	西ノ原1-6-3-6	460×415	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
11	西ノ原1-6-3-6	550×4,497	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
12	西ノ原1-6-3-6	1440×7	○	未	○	○	○	○	EII古	保土上
13	西ノ原1-6-3-6	630×660	○	△	△	△	△	△ 西ノ原	EII古	保土上
14	西ノ原1-6-3-6	4,350×350	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
15	西ノ原1-6-3-6	543×5,7	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
16	西ノ原1-6-3-6	540×5,16	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
17	西ノ原1-6-3-6	665×5,900	○	○	○	○	○	○ ○ 2回発	EII古	保土上
18	西ノ原1-6-3-6	420×351	○	有	○	○	○	○ ○ 22号と複合	EII古	保土上
19	西ノ原1-6-3-6	515×4,468	○	有	○	○	○	○	EII古	保土上
20	西ノ原1-6-3-6	500×4,450	○	有	○	○	○	○ ○ 有柱行灯付、焼土	EII古	保土上
21	西ノ原1-6-3-6	635×6,055	○	有	○	○	○	○ ○ 152号と複合	EII古	保土上
22	西ノ原1-6-3-6	550×4,450	○	○	○	○	○	○ ○ 保土上土器・人面	EII古	保土上
23	西ノ原1-6-3-6	425×3,707	○	有	○	○	○	○ ○ 有柱	EII古	保土上
24	西ノ原1-6-3-6	540×5,16	○	有	○	○	○	○ ○ 工事中止・破壊	EII古	保土上
25	西ノ原1-6-3-6	500×4,450	○	有	○	○	○	○ ○ 111号と複合	EII古	保土上
26	西ノ原1-6-3-6	7×5,30	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯付、焼土	EII古	保土上
27	西ノ原1-6-3-6	570×4,460	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯・石器	EII古	保土上
28	西ノ原1-6-3-6	425×3,707	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯	EII古	保土上
29	西ノ原1-6-3-6	460×4,420	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯	EII古	保土上
30	西ノ原1-6-3-6	405×4,03	○	○	○	○	○	○ ○ 121号と複合	EII古	保土上
31	西ノ原1-6-3-6	半周	○	○	○	○	○	○ ○ 122号と複合	EII古	保土上
32	西ノ原1-6-3-6	(380)×3,396	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯	EII古	保土上
33	西ノ原1-6-3-6	7×3,400	○	○	○	○	○	○ ○ 2回發掘	EII古	保土上
34	西ノ原1-6-3-6	580×4,490	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯	EII古	保土上
35	西ノ原1-6-3-6	605×5,550	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯・石器	EII古	保土上
36	西ノ原1-6-3-6	560×3,500	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯・石器	EII古	保土上
37	西ノ原1-6-3-6	440×3,90	○	○	○	○	○	○ ○ 有柱行灯	EII古	保土上

番号	路線名	平面図 (△40度)	接種	伊				備考	時間	文献
				地	地	理道	理道			
73 80% 横円形 570×440 ○ ○ 有 大鹿野石井~辰巳 E1新 調5重										
74 95% 丸形 520×410 ○ ○ 有 曹利新5号と複合 E1新 調5重										
75 80% 横円形 (800×1600) ○ ○ 有 □二三子峠、66・77号 伊川古 調6重										
76 完成 512×545 ○ ○ 有 □3回複合 E1中 朝X										
77 80% 横円形 (550×1550) ○ ○ 有 □石碑、石畠、75号と E1新 調5重										
78 完成 402×352 ○ ○ 有 横田町 V1										
79 53% 南半周復 7×370 ○ ○ 有 □伊上土器 横田町 地理道										
80 80% 東半周復 422×460 ○ ○ 有 曹利新 横田町 地理道										
81 65% 円形 388×347 ○ ○ 有 曹利新 E1H 地理道										
82 70% 横円形 (560×370) ○ ○ 有 □伊中 朝X										
83 45% 円形 364×7 未 略										
84 完成 丸形 732×674 ○ ○ 有 □複合小鹿御石井 E1新 調5重										
85 完成 横円形 620×588 ○ ○ 有 64号と複合 E1新 調5重										
86 完成 丸形 520×490 ○ ○ 有 □75号と複合 E1新 調5重										
87 完成 円形 354×374 ○ ○ 有 □66号と複合 E1新 朝X										
88 85% 丸形 640×559 ○ ○ 有 □複合-複原31個体 E1古 朝X										
89 完成 740×370 ○ ○ 有 □85号と複合 E1新 朝X										
90 70% 横円形 7×560 ○ ○ 有 横田町 地理道										
91 80% 丸形 748×7 ○ ○ 有 横田町 地理道										
92 完成 横円形 508×422 ○ ○ 有 横田町 地理道										
93 完成 横円形 580×490 ○ ○ 有 横田町 地理道										
94 完成 丸形 (1600×1600) 未 略										
95 完成 (円形) (1600×1600) 未 略										
96 完成 横円形 (560×380) ○ ○ 有 小鹿御石井 E1H 地理道										
97 完成 横円形 602×505 ○ ○ 有 66号と複合 E1古 地理道										
98 60% 横円形 472×334 ○ ○ 有 □74号と複合 横田町 地理道										
99 完成 平明 ?×402 ○ ○ 有 100号と複合 E1H 地理道										
100 完成 丸形 614×644 ○ ○ 未 略 有 □小鹿御石井-99号 E1新 調5重										
101 完成 円形 416×420 ○ ○ 有 E1新 朝X										
102 40% 円形 7×376 ○ ○ 有 E1H 町VII										
103 55% 横円形 7×380 ○ ○ 有 □1-1号と複合 横田町 地理道										
104 90% (圓柱形) (524×449) ○ ○ 有 横田町 地理道										
105 完成 円形 405×420 ○ ○ 有 E1新 朝X										
106 完成 円形 560×320 ○ ○ 有 横田町 地理道										
107 完成 円形 520×310 ○ ○ 有 横田町 地理道										
108 完成 円形 385×340 ○ ○ 有 横田町 地理道										
109 完成 横円形 560×494 ○ ○ 有 E1H 朝X										
110 完成 不規則形 418×379 ○ ○ 有 横田町 地理道										
111 20% 丸形 未 略 ○ ○ 有 □5-123号と複合 E1H 地理道										
112 完成 丸形 600×574 ○ ○ 有 □124-126号と複合 E1新 朝X										
113 完成 丸形 520×496 ○ ○ 有 □120号と複合 E1新 朝X										
114 完成 円形 480×480 ○ ○ 有 横田町 地理道										
115 完成 丸形 460×340 ○ ○ 有 横田町 地理道										
116 完成 横円形 540×486 ○ ○ 有 □石垣護壁 E1古 地理道										
117 70% 丸形 7×440 ○ ○ 有 横田町 地理道										
118 完成 横円形 520×374 ○ ○ 有 横田町 地理道										
119 90% 横円形 580×480 ○ ○ 有 横田町 地理道										
120 完成 円形 392×400 ○ ○ 有 113-124号と複合 E1新 朝X										
121 完成 円形 (360×390) ○ ○ 有 30号と複合 E1H 朝X										
122 完成 丸形 未 略 ○ ○ 有 □31号と複合 E1H 朝X										
123 完成 未 略 ○ ○ 有 112-120-126号と複合 横田町 地理道										
124 完成 円形 ? 418×420 ○ ○ 有 112-120-126号と複合 横田町 地理道										
125 10% 平明 未 略 ○ ○ 有 □113号と複合 E1H 朝X										
126 完成 不規 550×565 ○ ○ 有 □112-124号と複合 E1H 朝X										
127 10% 不明 645×7 未 略 ○ ○ 有 E1H 朝X										
128 完成 横円形 (810×580) ○ ○ 有 □前平善し E1H 朝X										
129 完成 不明 616×7 ○ ○ 有 E1H 朝X										
130 完成 円形 542×465 ○ ○ 有 横田町 朝X										
131 完成 横円形 560×442 ○ ○ 有 横田町 朝X										
132 完成 横円形 590×380 ○ ○ 有 横田町 朝X										
133 40% 丸形 7×460 ○ ○ 有 □138号と複合 E1H 朝X										
134 完成 丸形 610×330 ○ ○ 有 □141号と複合 E1新 朝X										
135 完成 丸形 540×460 ○ ○ 有 横田町 朝X										
136 70% 横円形 7×610 ○ ○ 有 横田町 朝X										
137 20% 不明 7×7 ○ ○ 有 □138-140号と複合 E1H 朝X										
138 完成 丸形 450×360 ○ ○ 有 □133-139-140号と複合 横田町 朝X										
139 55% 不明 (546)×平明 ○ ○ 有 □140号と複合 E1H 朝X										
140 40% 横円形 (762)×不規 ○ ○ 有 □137-138号と複合 横田町 朝X										
141 55% 不明 526×340 ○ ○ 有 □134号と複合 横田町 朝X										
142 50% 不明 616×7 ○ ○ 有 □143-144号と複合 横田町 朝X										
143 完成 横円形 479×421 ○ ○ 有 横田町 朝X										
144 90% (横)丸形 595×430×40 ○ ○ 有 □142号と複合 横田町 朝X										
145 60% 不明 580×325 ○ ○ 有 □149-151号と複合 横田町 朝X										
146 85% 横円形 580×7 未 略 ○ ○ 有 □157号と複合 E1H 朝X										
147 30% 横円形 7× 未 略 ○ ○ 有 □148号と複合 E1H 朝X										

参考文献: 大井町南面道路網、町:大井町内道筋群、町:大井町史資料編、調査:大井町道跡調査会報告書、市:ふじみ野市市内道筋調査会報告書。



第68図 西ノ原遺跡分布図 (1/2,000)

II 西ノ原遺跡第164地点

(1) 調査の概要

調査は駐車場造成に伴うもので、原因者より2015年4月13日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため試掘調査を実施した。調査は2015年5月11日～18日にまで行った。幅1.5mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力で表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約60cmである。

調査の結果、縄文時代の住居跡1軒、屋外埋甕1基、土坑6基、ピット1基を検出した。遺構に対して30cm以上の保護層が確保できるため、工事立会の措置とした。写真撮影・全測図作成等記録保存を行つたうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

① 第218号住居跡

今回の調査では現状保存が可能であったため、規模の確認等最低限の調査のみ行った。そのため住居跡に關しても遺構の掘削は行っていない。また、試掘調査段階では本地点の北側に隣接する西ノ原遺跡第19地点検出の10号住居跡だと思われていたが、検討の結果、新たに発見された住居跡であることが判明した。そのため新たに付番した。

【位置・時期】調査区北側に位置する。

【形状・規模】住居跡の平面形態は楕円形を呈する。規模は(454)×414cm、深さ32cmである。

【ピット】住居内ピットは3基確認した。いずれも主

柱穴の可能性が考えられる。ピット1は楕円形を呈し、確認面径58×40cm、深さ22.8cmである。ピット2は不整円形を呈し、確認面径37×35cm、深さ不明。ピット3も不整円形を呈する。規模は確認面径(34)×32cm、深さは不明である。

【炉】炉は住居跡ほぼ中央部に位置する。地床炉で、規模は長軸51cm、短軸45cm、深さ16cmである。

【遺物出土状況】住居覆土中より縄文土器が出土した。いずれも破片で、全容を把握できるものはない。

② 屋外埋甕

屋外埋甕は調査区北側、第218号住居跡の東側に位置する。攪乱によって北側1/2と南側が部分的に破壊されているため平面形態は不明。底部を欠損する深鉢形の縄文土器を逆位に埋設する。確認面径は112×(53)cm、深さ22.2cmである。

③ 土坑

土坑の詳細については第43表に掲載した。

④ ピット

ピットは調査区北側、第218号住居跡の東側に位置する。攪乱によって一部を破壊されているため、平面形態は不明である。確認面径(60)×30cm、底径10×3cm、深さ66.1cmである。

⑤ 溝

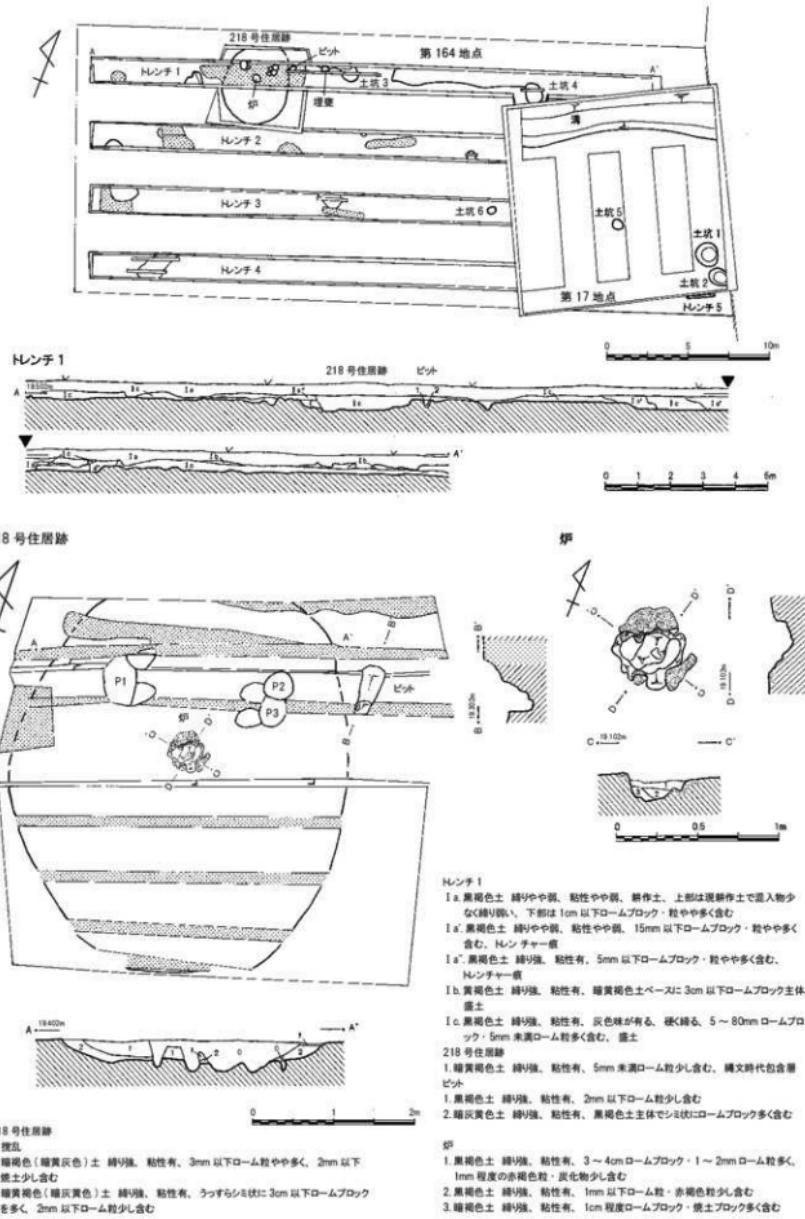
溝に関しては第17地点として調査済みである。詳細については文化財調査報告第15集『東部遺跡群VI』(1986年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛する。

⑥ 出土遺物

出土遺物の詳細については、第71図及び第44表に掲載した。

第43表 西ノ原遺跡第164地点土坑一覧表 (単位cm)

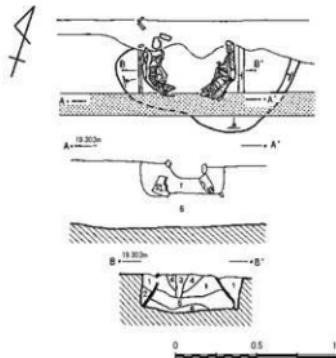
新No	平面形態	確認面径	底径	深さ	旧No
1	楕円形	78×59	51×40	33.2	17地点土坑1
2	不明	76×76	51×43	35.6	17地点土坑2・164地点土坑4
3	円形	92×90	50×50	39.5	164地点土坑1
4	円形	(127)×115	112×95	23.6	164地点土坑2
5	円形	75×67	57×56	28.5	164地点土坑3
6	円形	64×62	53×53	22.4	164地点土坑5



第69図 西ノ原遺跡第164地点 遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、218号住居跡・ピット(1/60)、炉(1/30)

164 地点

屋外埋甕

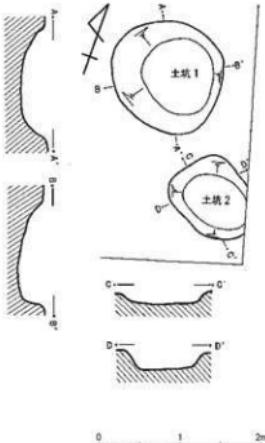


屋外埋甕

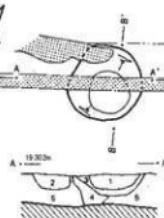
1. 黒褐色土 細り強、粘性有、2~3mmローム粒多く、3mm程度炭化物少し、1mm大燒土塊に含む
 2. 黄褐色土 細り強、粘性有、ローム主体、1~3cm 黑色土ブロック混じて含む
 3. 黄褐色土 細り強、粘性有、1cm程度のロームブロック、1~3cm 黑色土多く、1~2mmローム粒、1mm 大焼化物少々含む
 4. 黄褐色土 細り強、粘性有、1~2mmローム粒、同炭化物少し含む
 5. 黑褐色土 細りやや強、粘性有、2~3cmロームブロック多く、1mm以下ローム粒、1~2mm 烧土少々含む
 6. 黄褐色土 細り強、粘性有、1mm以下ローム粒、炭化物少々含む
- 土坑 3
1. 黒褐色土 細り強、粘性有、2~3mmローム粒多く、3mm程度炭化物少し、1mm大燒土塊に含む
 2. 黑褐色土 細り強、粘性有、1mm以下炭化物混じて含む
 3. 黄褐色土 細り強、粘性有、5mm大ロームブロック多く、1~2mmローム粒少々含む
 4. 黄褐色土 細り強、粘性有、1~4cmロームブロック多く、樹枝付合む
 5. 黄褐色土 細り強、粘性有、1~3cm 黑色土ブロック混じて含む
- 土坑 4
1. 黑褐色土 細り強、粘性有、2~3mmローム粒多く、3mm程度炭化物少し、1mm大燒土塊に含む
 2. 黑褐色土 細り強、粘性有、5mm大ロームブロック多く、1~2mmローム粒少々含む
 3. 黄褐色土 細り強、粘性有、1~3cmロームブロック多く含む
 4. 黄褐色土 細り強、粘性有、5~10mmローム粒多く、1~3mmローム粒多く、2~3mm炭化物少々含む
- 土坑 5
1. 黑褐色土 細り強、粘性有、2~3mmローム粒多く、3mm程度炭化物少し、1mm大燒土塊に含む
 2. 黑褐色土 細り強、粘性有、5mm大ロームブロック多く、1~2mmローム粒少々含む
 3. 黄褐色土 細り強、粘性有、1~3cmロームブロック多く含む
 4. 黄褐色土 細り強、粘性有、5~10mmローム粒多く、1~3mmローム粒多く、2~3mm炭化物少々含む
- 土坑 6
1. 黑褐色土 細り強、粘性有、2~3mmローム粒多く、3mm程度炭化物少し、1mm大燒土塊に含む
 2. 黑褐色土 細り強、粘性有、5mm大ロームブロック多く、1~2mmローム粒少々含む
 3. 黄褐色土 細り強、粘性有、1~3cmロームブロック多く含む
 4. 黄褐色土 細り強、粘性有、5~10mmローム粒多く、1~3mmローム粒多く、2~3mm炭化物少々含む

第17地点

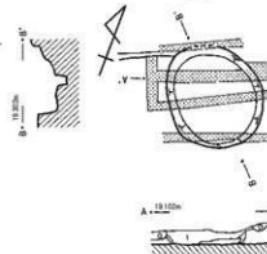
土坑 1・2



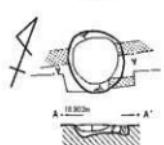
土坑 3



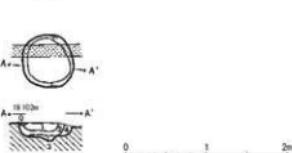
土坑 4



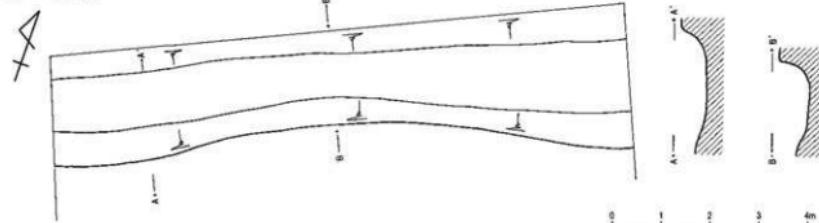
土坑 5



土坑 6



第17地点 溝



第70図 西ノ原遺跡第164地点屋外埋甕(1/30)、土坑(1/60)、溝(1/100)

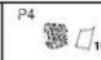
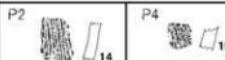
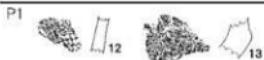
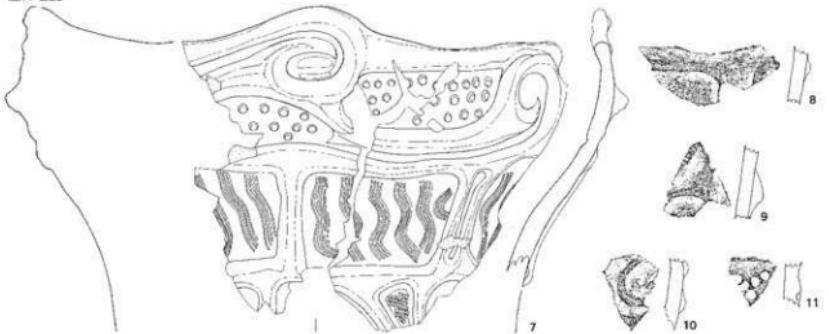
第44表 西ノ原遺跡第164地点出土遺物観察表（単位cm・g）

回収番号	出土 遺構	地文/文様/偏考	時期/型式	回収番号	出土 遺構	地文/文様/偏考	時期/型式	
第71回-1	側面/刃縫隙	縦位沈縫隙、砂礫を多く含む	中期	第71回-17	深部/口縫隙	縦位RJか、横位沈縫隙、逆U字状の沈縫による区画	中期/加曾利E II～III	
第71回-2	側面/刃縫隙	2.9mmの土塊	中期	第71回-18	深部/口縫隙	深縫隙による溝文、溝文文様下に径9mmの円孔	中期/加曾利E II	
218 側面/刃縫隙	側面/刃縫隙	径7mmの円形剝離文/第71回-7層外埋疊と同	中期/加曾利E	第71回-19	深部/口縫隙	形割れ文、隈がくに雲母を含む	中期/加曾利E II～III	
第71回-4	側面/刃縫隙	無文、隈がくに雲母を含む	中期	第71回-20	深部/口縫隙	地文RJ、隈帯による溝文文、白色粒子を多く含む	中期/加曾利E II～III	
第71回-5	側面/刃縫隙	無文、白色粒子を多く含む	中期	第71回-21	深部/口縫隙	吉む/第71回-7層外埋疊と同一	中期/加曾利E II～III	
第71回-6	側面/刃縫隙	無文	—	第71回-22	深部/口縫隙	地文RJ、隈帯による区画/白色粒子を多く含む	中期/加曾利E II～III	
第71回-7	側面/刃縫隙	深部/口縫隙	縦位RJか、横位沈縫隙、逆U字状区画内に縦位沈縫隙、口縫隙径4.5cm、高さ2.6cm	中期/加曾利E II 新	第71回-23	側面/刃縫隙	地文RJ、隈帯による区画か、砂礫を多く含む	中期/加曾利E II～III
第71回-8	側面/刃縫隙	深部/口縫隙	縦位RJか、横位沈縫隙による逆U字状工具文	中期/加曾利E II 新	第71回-24	側面/刃縫隙	地文RJ、沈縫隙による区画	中期/加曾利E II～III
第71回-9	側面/刃縫隙	側面/刃縫隙	縦位RJか、隈帯による区画/側面に横位沈縫隙工具文	中期/加曾利E II 新	第71回-25	側面/刃縫隙	地文RJ、隈帯による区画、崩壊が激しい	中期/加曾利E II～III
第71回-10	側面/刃縫隙	側面/刃縫隙	縦位RJか、隈帯による区画/側面に横位沈縫隙工具文	中期/加曾利E II 新	第71回-26	側面/刃縫隙	地文RJ	中期
第71回-11	側面/刃縫隙	側面/刃縫隙	縦位RJか、隈帯による区画/側面に横位沈縫隙工具文	中期/加曾利E II 新	第71回-27	側面/刃縫隙	地文RJ	中期/加曾利E II～III
第71回-12	P1	側面/刃縫隙	縦位RJか、隈帯による区画/側面に横位沈縫隙工具文	中期/加曾利E II 新	第71回-28	側面/刃縫隙	2本の縦位沈縫隙、下部に縫文か/砂礫を多く含む	中期
第71回-13	P1	側面/刃縫隙	縦位RJか、隈帯による区画/側面に横位沈縫隙工具文	中期/加曾利E II 新	第71回-29	側面/刃縫隙	2本の縦位沈縫隙、ミガキ丁寧	中期
第71回-14	P2	側面/刃縫隙	—	第71回-30	側面/刃縫隙	縫文か/砂礫を多く含む	中期	
第71回-15	P4	側面/刃縫隙	縦位沈縫隙工具文	第71回-31	側面/刃縫隙	縦位沈縫隙工具文	中期/加曾利E II～III	
第71回-16	P4	側面/刃縫隙	縦位沈縫隙工具文	第71回-32	側面/刃縫隙	無文、白色粒子を多く含む	中期	
遺構外	深部/外口縫隙	半乾竹管状工具による剝離文、口縫隙に剝離	中期/勝板	底面	—	上げ底	中期	

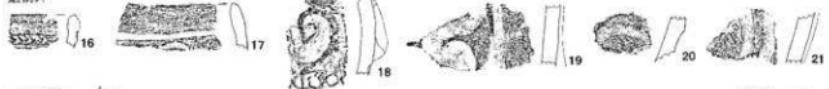
218号住居跡



屋外埋疊



遺構外



1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 10cm

第71図 西ノ原遺跡第164地点出土遺物(1/4)

III 西ノ原遺跡第165地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年7月30日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため2015年9月30日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.2mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さは約130cmである。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。旧石器時代の調査は行っていない。

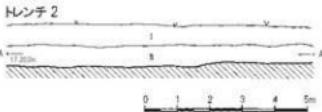
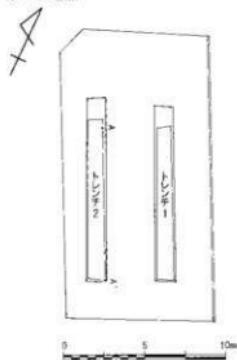
IV 西ノ原遺跡第166地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年10月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月5日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.3mのトレンチ2本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から遺構確認面までの深さ約150cmである。

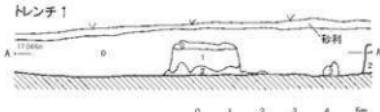
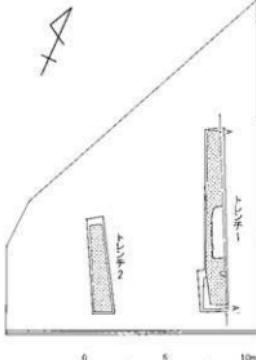
調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

第165地点



I. 棕褐色土 細り強、粘性有、ガラ混じりの盛土ローム
II. 黒褐色土 細り強、粘性有、旧耕作土、1mm以下ローム粒少少含む

第166地点



I. 棕褐色土 細り強、粘性有、2mm以下ローム粒少少含む
2. 黑褐色土 細りや強、粘性有、1mm以下ローム粒極僅かに含む

第72図 西ノ原遺跡第165・166地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

V 西ノ原遺跡第167地点

(1) 調査の概要

調査はアスファルト造成工事に伴うもので、原因者より2015年10月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月9～10日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.6mのトレンチ4本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約50～60cmである。

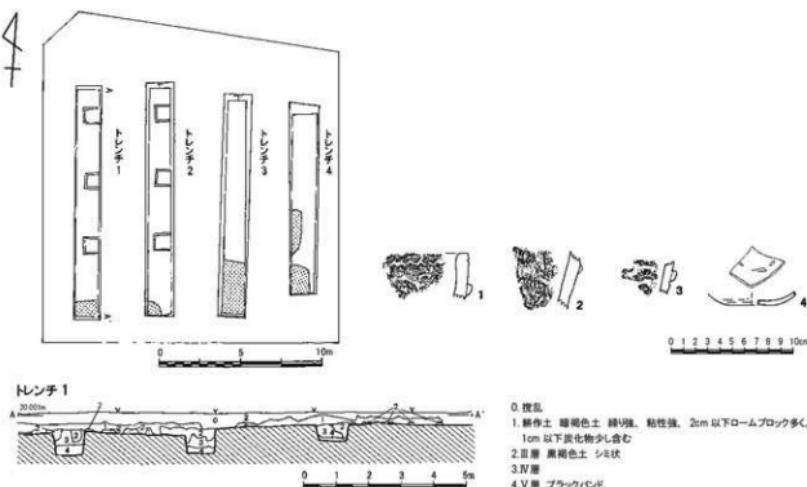
調査の結果、遺構は確認されなかったため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

また、トレンチ1・2において石器時代の確認調査を実施した。1m四方の調査区を約3m間隔で計6ヶ所設定して掘り下げたが、遺構・遺物は確認されなかった。

(2) 遺構と遺物

遺構は確認されなかったが、表土中より縄文土器片と陶器片が出土した。

1～3はすべて縄文時代の深跡である。1は口縁部で波状の沈線と横位の隆帯を施す。2・3は胴部で、どちらも隆帯貼付だが摩耗が激しく詳細は不明。4は灯明皿の破片である。底径4cm、内面に鉄軸を施す。内面に重ね焼きの痕跡が見られる。1～3は縄文時代中期、4は近世に帰属する。



第73図 西ノ原遺跡第167地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)、出土遺物(1/4)

第17章 神明後遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

神明後遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約300m、さかい川の谷頭部から約1.500m下った右岸に位置し、標高12~16m、現谷底との比高差は1.5mを測る。さかい川は本遺跡付近から崖を形成し始め、本遺跡をのせる南側台地は急斜面、対岸の北側は緩やかな斜面を形成している。

周辺の遺跡は、上流に中沢前遺跡、下流に淨禪寺跡遺跡、苗間東久保遺跡が隣接し、さかい川の対岸には富士見市の外記塚遺跡がある。

遺跡周辺は古くからの集落があり、現在でも大きな屋敷地が多く大きな開発もなかったが、ふじみ野駅の開設に伴い徐々に再開発が進みつつある。

本遺跡の最初の調査は1987年に大井町史編纂事業の一環として行われた。その後1993年に新駅へ延びる道路をはじめ、2018年4月現在、55地点で試掘調査および發掘調査が行われている。

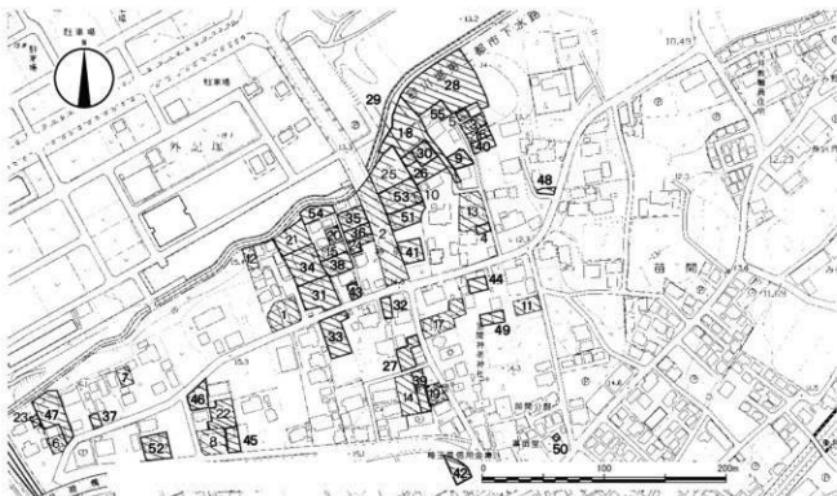
これまでの調査で縄文時代中期後半~後期前半の住居跡、奈良時代から平安時代の住居跡、中世の建物跡などの遺構を検出した。

II 神明後遺跡第54地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原作者より2015年9月15日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月3日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレンチ1本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から60cm下でも地山ローム層は確認されなかった。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかつたため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

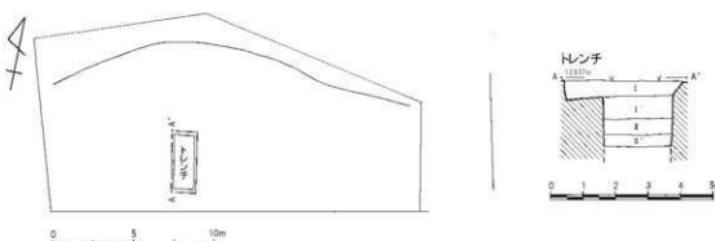


第74図 神明後遺跡の地形と調査区（1/4,000）

第 45 表 神明後遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査時期(月)・試験調査	面積(m ²)	調査深度	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	苗園281-2	1993.5.6~11	615	共同住宅	遺構なし。平成10年中(底面)、陶器片	新規
2	苗園295-2, 299-3	1993.5.12~20	1,688	分譲住宅	落し穴1、平成10年中(底面)1(木1号)、織文土坑1、中・近世掘建柱	新規
3	苗園309-12	[1993.5.24~29]1995.4.3~5.19	200	分譲住宅	落し穴1、平成10年中(底面)1(木1号)、織文土坑1、中・近世掘建柱	新規
4	苗園302	[1996.6.17~19]	703	物置	遺構なし。織文土器片	新規
5	苗園神後395-5	[1997.3.15]1997.3.15~4.2	80	個人住宅	織文住居跡1(2号)、土坑5、織文土器片	新規
6	苗園255, 227-2	[1997.9.29~30]	150	個人住宅	遺構なし。土坑1、土器片・石器片	新規
7	苗園260	[1998.6.1~2]	1,460	個人住宅	近世地下室1	新規
8	苗園25-1	[1998.6.13~24]	458	共同住宅	織文土器片	新規
9	苗園310-1	[1998.8.3~11]1999.9.14~10.15	219	共同住宅	織文住居跡4、石土坑1、落し穴1、織文土坑2、近世土坑1、戸門2、地下室1、ビット33	新規
10	苗園298-1	[1999.9.16]	44	個人住宅	遺構なし。織文土器片	新規
11	苗園366	[1999.10.21]1999.10.22~26	239	個人住宅	遺構なし。ビット7	新規
12	苗園303-2~5	[2000.4.17~19]	250	個人住宅	遺構なし。土坑1	新規
13	苗園302-1	[2000.4.17~19]	694	個人住宅	遺構なし。土坑1、ビット30	新規
14	苗園752-2	[2000.8.18~23]	357	共同住宅	土坑1、近世掘建柱建物跡1、落2、戸門1、櫛列、ビット38	新規
15	苗園293-15	[2001.4.11]2001.4.12~13	163	個人住宅	土石坑1(阿蘇五郎型)	新規
16	苗園309-14	[2001.7.23~24]2001.7.25~9.3	165	個人住宅	織文住居跡4、土坑13、溝2、地下水槽1、地下室1、堅六状溝1、ビット38	新規
17	苗園369-1	[2002.3.28]	581	個人住宅	近世溝	新規
18	苗園304-1, 303-6	[2002.5.15~25]2002.5.27~6.21	672	分譲住宅	織文住居跡5(8~12号)、土坑、古代・中世掘建柱	新規
19	苗園264-4	[2002.9.18~20]	216	個人住宅	切通、溝4	新規
20	苗園293-11	[2003.1.14~15]	143	個人住宅	遺構なし。土坑1、土坑10、ビット38、江戸後期陶器	新規
21	苗園281-1	[2003.1.16~30]	674	土地造成	土坑1、土坑2、ビット1	新規
22	苗園235-2~3	[2003.7.8~29]	430	分譲住宅	土坑7、戸門1、近世地下室2、土坑1	新規
23	苗園253	[2004.4.9]	62	個人住宅	土坑1、土坑1、残頭	新規
24	苗園神後293-4~10	[2004.9.30~10.7]	148	個人住宅	遺構なし。	新規
25	苗園神後293-1, 303-3~5~7, 304-1	[2005.6.1~8]2005.6.15~20	660	分譲住宅	織文住居跡1	新規
26	苗園神後293-1, 303-3~5~7, 304-1	[2005.6.1~8]2005.6.15~20	689	分譲住宅	織文住居跡1(14号)、中世地下式溝、近世土坑1、溝	新規18集
27	苗園246-2, 249-1	[2005.7.20~25]2005.7.27~29	385	共同住宅	地下中耕用工具1	新規18集
28	苗園神後306-1	[2006.5.8~31]2006.6.29~10.5	2,171	宅地造成	ビット、溝4、古代・中世掘建1	市3
29	苗園神後303-1~24	[2006.5.8~11]2006.5.12~19	135.9	個人住宅	ビット1、古代・中世掘建1	市3
30	苗園神後303-1	[2006.5.8~19]2006.12.14~19	101.13	個人住宅	ビット2	市3
31	苗園神後284	[2007.8.3~7]	499	個人住宅	土坑2	市4
32	苗園神後247-2	[2008.3.13]	136	個人住宅	古・現代復元	市4
33a	苗園240-2	[2008.4.25~5.16]	298	個人住宅	落し穴1、中世以降溝6、戸門2、土坑38、ビット16	市6
33b	苗園240-2	[2008.4.25~5.16]	357	分譲住宅	遺構なし。	市6
34	苗園神後283-1, 284-1の一部	[2008.4.30~5.15]2008.5.16~28	1,693	個人住宅	織文住居跡1(26号)、落し穴1、集石3、ビット	市5
35	苗園神後293-6~20	[2008.8.1]	247	個人住宅	ビット1、溝4、古代・中世掘建1	市6
36	苗園神後293-3	[2008.9.2]	165	個人住宅	遺構遺物なし	市6
37	苗園258-1の一部	[2009.4.13]2009.4.15~30	120	個人住宅	ビット1	市6
38	苗園神後293-1, 292-13	[2009.4.17~7]2009.7.8~16	265	個人住宅	織文後期住跡1	市8
39	苗園神後264-1	[2009.4.5~12]2009.8.24~9.3	378	共同住宅	中世以降溝2、ビット28、落し穴1	市7
40	苗園309-1	[2009.11.19~16]2009.12.8~2010.0.15	156	個人住宅	織文集石土坑1、中世地下式坑2、戸門1、堅六状溝1、土坑9	市8
41	苗園神明後298-1, 299-1の一部	[2010.5.25~6.7]2010.6.15~7.21	486.36	共同住宅	縄文時代集石土坑1、中世の擬立柱建物跡、方形・六形状溝16、溝9、木炭2、ビット214	市9
42	苗園神後380-3	[2010.6.1~2]	312	宅地造成	遺構遺物なし。(隣接地)	市10
43	苗園292-14	[2010.10.20~22]2010.10.22	107	個人住宅	中世~近世掘建ビット7、本洞柵	市10
44	苗園神後367-1, 368-1の一部	[2011.7.8]2011.7.11~13	1,535.8	個人住宅	落し穴1、土坑・陶器片	市14
45	苗園神後235-9	[2011.12.5]	200	個人住宅	遺構遺物なし。	市14
46	苗園神後235-6	[2012.4.9~10]	233	個人住宅	織文土坑1、土器片	市15
47	苗園神後227-2	[2012.4.24]2012.4.25~5.10	340	個人住宅	縄文時代石3、ビット4、織文土器片	市15
48	苗園神後315-1の一部	[2012.5.7]2012.5.8~14	171	個人住宅	土坑2、溝3、土坑6、ビット、板塀、カラタマ、近世陶器、石臼	市15
49	苗園神後367-1, 368-6	[2013.3.30]	275	個人住宅	遺構遺物なし。	市15
50	苗園375	[2013.12.11]	531	墓	遺構なし。	市18
51	神明後295-1, 297-1~2の一部、296-1, 299-1	[2014.1.15~13]2014.11.20~25	487.33	集合住宅	織文住居跡2、中世溝2、織文土器	市16
52	苗園神明後231-1	[2015.1.28]	379	個人住宅	遺構なし、土器片	市20
53	苗園神明後296-1	[2015.1.28]	495	個人住宅	遺構遺物なし。	市20
54	苗園神明後293-7~9	[2015.12.3]	342	共同住宅	遺構遺物なし。	市22
55	苗園神明後310-1の一部	[2017.5.8]2017.5.9~12	180	個人住宅	織文住居跡2、織文土器、石器	未報告

由町: 大井町内に遺跡群、調査: 大井町道跡調査会委員会、市: みどりみ野市内遺跡群



第 75 図 神明後遺跡第 54 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

I: 黒褐色土 細粒土、粘性有、表土墨土質で、木の根・ロームブロック・根が多く含む
 II: 織文土色 細粒土、粘性無、砂質で硬木体の墨土
 III: 黑褐色土 細粒土、粘性有、白墨作土、やや灰黑色
 IV: 黑褐色土 細粒土、粘性有、旧包含層で黑色土

第18章 浄禪寺跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

浄禪寺跡遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の東約600m、浄禪寺川の湧水地南側から右岸の台地上に位置する。標高12~14mで現谷底との比高差は2mを測る。浄禪寺川はさかい川と砂川堀の間を東流し、さかい川に合流する。さかい川はやがて砂川堀に合流して新河岸川へと注ぐ。

周辺の遺跡は北西に神明後遺跡、北側に苗間東久保遺跡が隣接する。本遺跡は1989年に苗間東久保遺跡の一部を、浄禪寺川を境に分割して登録した。

遺跡周辺は市街化が進み、残された畠地も周辺の区画整理の影響で開発が増加している。

2018年4月現在50地点で試掘調査及び発掘調査を行い、縄文時代早期の炉穴多数、前期住居跡1軒、中期住居跡4軒、中・近世の薬研状の堀や、遺跡名の由来である浄禪寺墓域から土壙墓157基、一字一石経約76,000点が出土している。浄禪寺は江戸時代に建立されたが、幕末に焼失して以来再建されていない。

II 浄禪寺跡遺跡第40地点

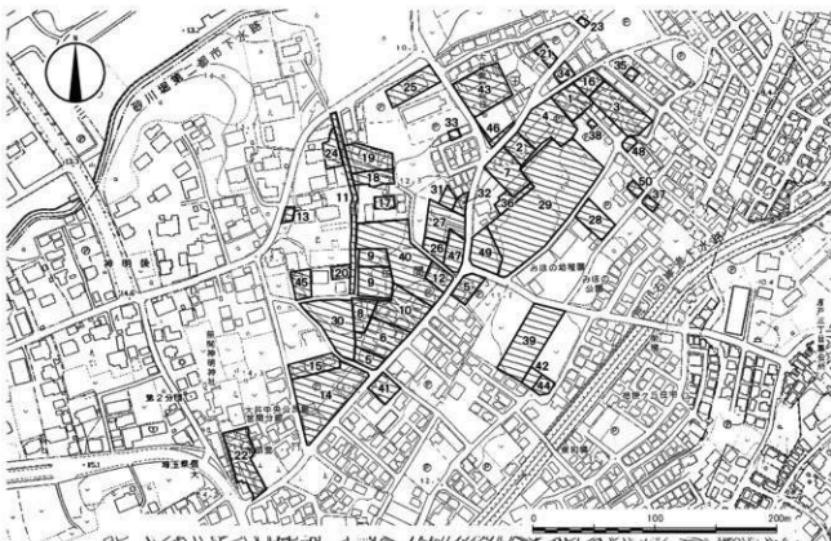
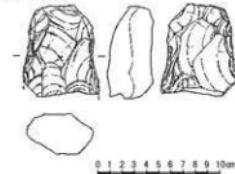
(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴い、2015年8月19日~9月30日に試掘調査、10月1日~11月9日に本調査を実施した。詳細については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みのため、本書では割愛した。

(2) 遺構と遺物

集石土坑の礫中より新たに見つかった石器1点について報告する。石器は打製石斧で、長さ(7.5)cm、幅6.1cm、厚さ3.7cm、重量176.66gである。頁岩製で、一部欠損する。

集石土坑1



第76図 浄禪寺跡遺跡の地形と調査区 (1/4,000)、第40地点出土遺物 (1/4)

第46表 清禅寺跡遺跡調査一覧表

地點	所在地	調査期間 () 案件調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	清閑裏久保579	1979.4.3~21	605	共同住宅	宮園東久保1地点として報告済み 炉穴10、土坑14、繩文早期半・中期	東部遺跡群Ⅰ
2	清閑裏久保573	1982.4.1~3	396	共同住宅	宮園東久保2地点として報告済み 遺物なし、繩文土器	東部遺跡群Ⅲ
3	清閑裏久保581	1984.7.20~21	320	共同住宅	宮園東久保2地点を淨禪寺3地点とする 遺物なし、繩文中期	未報告
4	清閑神明後346-1	1989.11.15~25	150	開発予定地	炉穴10、土坑7、ビット14、繩文早期後半・前・中期	東部遺跡群X
5	清閑374-9	1991.8.28~9.3	100	個人住宅	遺構なし、繩文前期・中期土器片	町内遺跡群Ⅰ
6	清閑358-1	1991.9.21~12.26	826	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群Ⅰ
7	清閑裏久保573-4	1992.10.20~11.20	831	共同住宅	炉穴8、井戸3、塗3、繩文中期	調査会報告5集
8	清閑357-1	(1994.9.20~27)	615	宅地分譲	落とし穴、種類切妻	町内遺跡群Ⅳ
9	清閑353	(1994.10.18)2007.5.22~24	1,266	農地改良	土坑、墓、繩文土器、磁器	町内遺跡群Ⅳ、市内4
10	清閑356-1	1994.10.31~11.2	999	宅地分譲	近世土器・石器、一石經理土器、六道鏡、江戸中後期	調査会報告12集
11	清閑352-1 他	(1995.1.9~2.3)	572	道路	洗浄水	町内遺跡群Ⅳ
12	清閑35-95	1995.9.25~10.21	140	個人住宅	屋外物、道具集中3、ビット16、溝5、繩文中期土器、磁器	町内遺跡群Ⅳ
13	清閑312-4	(1996.1.8~29)	101	個人住宅	土坑13、ビット11、井戸1、溝2、繩文早~後期、陶磁器	町内遺跡群Ⅴ
14	清閑360.1,362-2	(1996.6.3~12)1996.6.18~7.11	2,178	個人住宅	埋甕3、落とし穴1、溝4、ビット251、旧石器、繩文土器、馬鹿通片	町内遺跡群Ⅵ
15	清閑362.4-5	(1996.6.3~12)1996.7.12~8.2	494	分譲住宅	炉穴7	町内遺跡群Ⅵ
16	清閑579-1	1997.11.10~12.19	291	個人住宅	繩文住居1、炉穴14、ビット61、土坑16、溝4、繩文早期後半、前期、中期	町内遺跡群Ⅶ
17	清閑345.2-10	(1998.9.29~10.2)	877	個人住宅	遺構なし、繩文早期後半、中期後半	町内遺跡群Ⅷ
18	清閑345.3-4	(1995.6.26~6.24)1999.6.26~8.3	599	個人住宅	炉穴6、集石石坑3、土坑13、ビット27、溝、繩文後期土器、土器片	町内遺跡群Ⅸ
19	清閑神明後345-4	1999.8.28~9.14	703	分譲住宅	炉穴1、落とし石2、誰も廣4、土坑22、井戸2、溝8、竪立5、馬鹿通片	調査会報告15集
20	清閑神明後351-1	(2001.10.26~29)	223	墓塚	遺構なし、近世磁器	町内遺跡群Ⅹ
21	清閑裏久保513-1、592-7	(2001.11.19~20)	182	個人住宅	遺構なし、遺物なし	町内遺跡群Ⅺ
22	清閑373.5-8、377.5-3-4	(2002.4.23~5.14)	935	分譲住宅	土坑1、ビット4、溝、遺物なし	町内遺跡群Ⅻ
23	清閑592-1	(2003.4.28)	100	個人住宅	ビット2、溝、遺物なし	町内遺跡群Ⅻ
24	清閑神明後346-1~20一部	(2004.8.30~31)	391	個人住宅	遺構・遺物なし	町内遺跡群Ⅻ
25	清閑339.1~2	(2004.9.22~10.12)	221	共同住宅	ビット2	町内遺跡群Ⅻ
26	清閑神明後338-B、339-2	(2012.6.27)	844.8	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群14
27	清閑神明後354-2の一部	(2005.3.3~8)2006.4.17~28、6.7~15	216	分譲住宅	炉穴10、土坑8、ビット21、溝1、繩文中期土器	市内遺跡群3
28	清閑神明後354-2	(2005.12.1~2006.1.22)2006.12.3~2.23	696	道路・分譲住宅	住居跡1、炉穴5、埋甕2、土坑117、ビット127、溝1	市内遺跡群2
29	清閑字東久保719-7、720-1	(2007.1.23)	2,478	園舎改築	溝2	市内遺跡群3
30	清閑370.1-2、571.1-2、575	(2007.8.7~9.21)2007.9.25~11.6	4,920	分譲住宅	竪立柱建物跡3、井戸15、土坑15、埋甕1、溝17、陶磁器、板状物	市内遺跡群4
31	清閑359-1	(2007.9.14~10.9)2007.10.9~11.2	1,298	分譲住宅	茅葺屋根1、木床架1、土坑15、溝2、陶磁器、板状物	市内遺跡群4
32	清閑字神明後342.14一部	(2007.2.19)2007.2.19~3.5	171	個人住宅	住居跡1、炉穴1、土坑1、ビット26、繩文土器・石器	市内遺跡群4
33	清閑字神明後340.15~10.15	(2007.2.25~3.4)	188	個人住宅	埋甕1、ビット1、繩文土器	市内遺跡群4
34	清閑字東久保758.6~7.587.2の一部	(2012.8.24)	160	個人住宅	土坑1	市内遺跡群10
35	清閑裏久保82-8	(2012.4.4)	80	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群14
36	清閑字東久保573-5	(2012.8.6~9)2012.9.5~12	401	宅地造成	土坑2、ビット14、溝5	市内遺跡群15
37	清閑裏久保72-17	(2012.11.21)	100.52	個人住宅	遺構・遺物なし	市内遺跡群15
38	清閑裏久保578-11	(2013.5.14)	53.42	個人住宅	遺構なし、表探土器	市内遺跡群18
39	清閑565-1	(2013.6.25~7.3)	1,709	分譲住宅	中世以降の溝、遺物なし	市内遺跡群18
40	清閑字神明後355.1~2.12	(2015.8.19~9.30)2015.10.1~11.9	2,308.06	分譲住宅	繩文時代住居跡1、集石土坑3、溝6、土坑13、ビット51、地下式下水1、井戸1、繩文土器	市内遺跡群19
41	清閑字神明後509.1~5	(2015.1.22.1)	349.73	分譲住宅	土坑1、ビット1、土器片	市内遺跡群22
42	清閑字神明後364.3~1~一部	(2016.4.8)	132.35	分譲住宅	土坑1、遺物なし	未報告
43	清閑539-1	(2016.6.20~24)	1,402	公園	遺構・遺物なし	未報告
44	清閑字神明後564-5	(2016.7.4)	124.05	分譲住宅	溝1、遺物なし	未報告
45	清閑字349-3、350-4	(2016.8.18~19)	310	個人住宅	ビット12、繩文土器、泥濘子	未報告
46	清閑588-10	(2017.2.6)	108	道路・幅広	遺構なし、繩文土器	未報告
47	清閑字神明後345-1	(2017.4.24)2017.4.25~5.2	401	個人住宅	炉穴、土坑、ビット1、繩文土器	未報告
48	清閑字東久保717-3	(2017.4.24)	103	分譲住宅	遺構・遺物なし	未報告
49	清閑字東久保569-1	(2017.5.22~23)	798	分譲住宅	遺構・遺物なし	未報告
50	清閑字東久保717-12	(2017.7.10)	132	個人住宅	遺構・遺物なし	未報告

III 清禅寺跡遺跡第41地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年12月4日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年12月21日に試掘調査を実施した。調査は幅約1~1.4mのトレンチ5本を設定し、重機で表土除去後、人力により表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは50~90cmである。

調査の結果、土坑とピットを1基ずつ検出した。土坑は建物の影響を受けないため完掘していない。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。

(2) 遺構と遺物

① 土坑

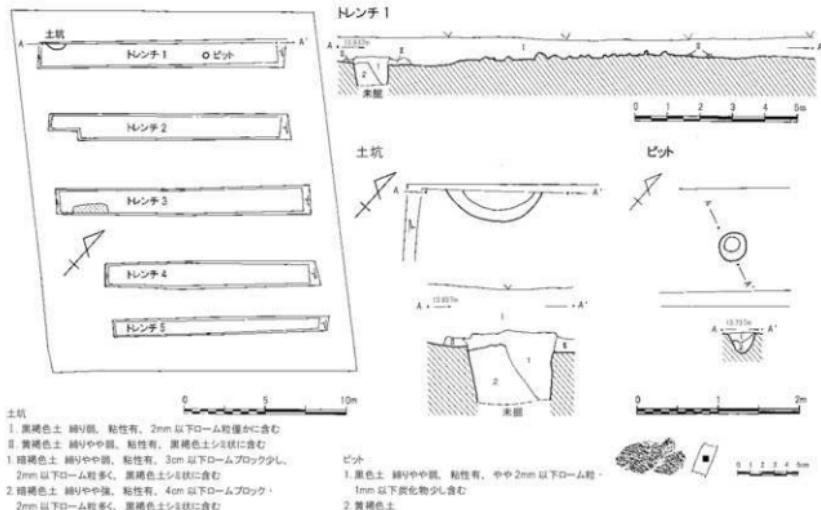
土坑は調査区東端で検出した。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。建物建築範囲に当たらなかったため、トレンチ内での確認に留めた。そのため規模・形状ともに不明。遺物は出土していない。

② ピット

ピットは調査区北側、トレンチ1で検出した。平面形状は円形で、遺構の規模は確認面径30×30cm、底径20×15cm、深さ24.3cmである。出土遺物はない。帰属時期は、土層の観察から土坑と同様に近世以降であると考えられる。

③ 出土遺物

出土遺物は、表土中より縄文土器片が1点出土した。条痕文を施し、胎土に纖維を含む。縄文時代早期。



第77図 清禅寺跡遺跡第41地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

第19章 小田久保遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

小田久保遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約1.3km、砂川堀の左岸、標高23~28mに位置する。本遺跡をのせる台地は緩やかな斜面を形成するが、対岸の南側台地は急傾斜をなす。

周辺の遺跡は、砂川堀を挟んだ南側台地上に旧石器時代の石器・礫群を検出した西台遺跡が、本遺跡の東側、微高地の突端には縄文時代前期住居を検出した大井氏館跡遺跡がある。

本遺跡は市街化調整区域のため比較的武藏野の面影を残す農村地帯だが、区画整理事業とふじみ野駅の開

設により、ここ数年開発の波が押し寄せつつある。

1990年に最初の試掘調査が行われて以来、過去の調査では数点の縄文土器片を確認しているだけであったが、2003年と2004年の調査において本遺跡では初の住居跡を検出したことにより、本遺跡が縄文時代中期の集落である事が明らかとなりつつある。今後は集落の分布や範囲の解明が待たれる。分布調査や発掘調査から遺跡の時期は旧石器時代、縄文時代早期から中期、中世である。2018年4月現在、12ヶ所で調査を行っている。

第47表 小田久保遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間	（）は試掘調査 （）は3.1月末まで継続調査予定	面積（m ² ）	調査原因	確認された遺構と遺物	所収報告書
1	大井1223-3	(1990.10.12~16)	H3.1月末まで継続調査予定	694	資材露場	遺構なし、縄文中期土器片	未(X)
2	大井1249-1	(1993.9.21~10.1)		498	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	市内B
3	大井1214-3	(1994.6.7)		330	個人住宅	遺構なし、縄文中期土器片、石器	市内IV
4	大井1185-5	(1997.5.24~26)		271	分譲住宅	土坑1	市内VII
5	大井字中原1023	(2003.8.18~19) 2003.8.20~9.2		165	個人住宅	縄文中期住居跡1。縄文土器・石器	市内XII
6	大井字中井原1207-5	(2004.10.26~27) 2004.10.28~11.13		306	個人住宅	縄文中期住居跡1。集石土坑1、土坑2、ビット8、縄文土器・石器	市内XII
7	大井字中井原1023-9-8	(2008.5.19~21)		333	個人住宅	遺構遺物なし。	市内6
8	大井字小田久保1211-1	(2010.3.3~9)		421	個人住宅	縄文時代土坑5、ビット8、近世以降根切り溝9、市内8	市内8
9	大井字小田久保1185-1	(2010.3.9)		536	個人住宅	遺構遺物なし	市内10
10	大井字中井原1023-3	(2014.10.7)		317	個人住宅	縄文時代土坑1、縄文土器	市内20
11	大井985-4	(2015.5.14)		330.16	個人住宅	遺構遺物なし	市内22
12	小田久保1190-1-2-4, 1196-1-2	(2015.8.18)		536	個人住宅	遺構遺物なし	市内22

※市:大井町東部遺跡群、町:大井町内遺跡群、町役:大井町史資料編、調査:大井町遺跡調査会報告、市:ふじみ野市市内遺跡群



第78図 小田久保遺跡の地形と調査区(1/4,000)

II 小田久保遺跡第 11 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 8 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 5 月 14 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.5m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 60 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかっただため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

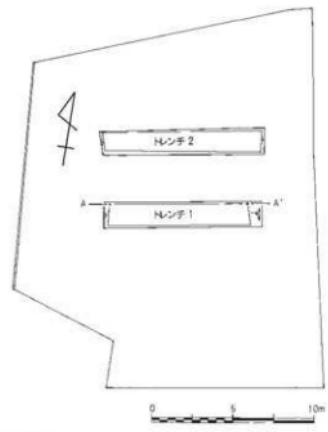
III 小田久保遺跡第 12 地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より 2015 年 4 月 21 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015 年 8 月 18 日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1 m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約 50 ~ 60 cm である。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかっただため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。

第 11 地点

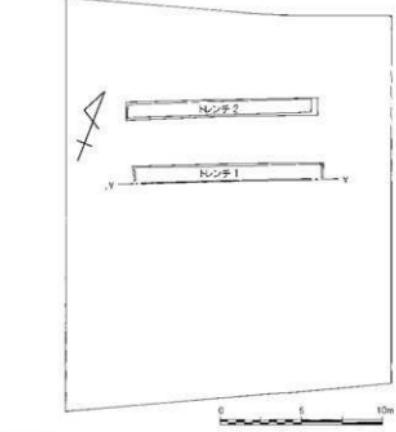


トレンチ 1



I 黒褐色土 細り弱、粘性有、表土、1cm 以下ロームブロック少含む
II 褐色土 細り弱、粘性有、盛土ローム、天地返しで(1cm 以下黒褐色土ブロック少含む)層

第 12 地点



トレンチ 1



I 黒褐色土 細り弱、粘性有、表土耕作土
II 褐色土 細り強、粘性有

第 79 図 小田久保遺跡第 11・12 地点調査区域図 (1/300)、土層 (1/150)

第20章 大井氏館跡遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

本遺跡の名称は『埼玉の城館跡』(1972 埼玉県教育委員会)によるもので、平安時代末から鎌倉時代に活躍した武藏七党の一つ、村山党の大井氏一族の館跡という想定による。遺跡は砂川堀左岸(北側)の舌状に張り出した微高地上、標高 21 ~ 22m に立地し、西は川越街道に接している。砂川堀の対岸は段丘面を形成しており、比高差 5m の崖になる。

遺跡の時期は A-T 降灰前の立川ローム層第IV層段階の石器群、縄文時代前期、中世、大井宿に関連した近世・近代まで多岐にわたる。

II 大井氏館跡遺跡第26地点

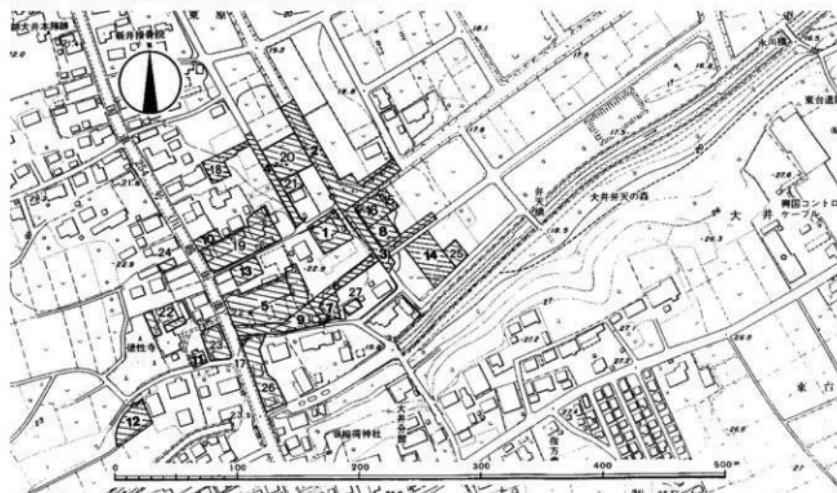
(1) 調査の概要

調査は貸店舗建設に伴うもので、原因者より 2015 年 5 月 19 日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじ

第48表 大井氏館跡遺跡調査一覧表

地番	所在地	調査期間(～)	試験調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構・遺物	所収件数
1 2 3 6 8 9	大井212他	1988.6.24～1993.10.26		4,800	大井・苗間第一 土地区画整理事業	旧石器時代～石器集中。律群14～石器、縄文時代～集石土坑1、土坑4～石器・土器、中世～近世～塔下式坑12、井戸2、土坑28、溝5、近世土坑14～国産陶器、舶来陶器、土師質土器、瓦質陶器、石製品・板塀、金属製品、鍔頭	調査会7
4		(1990.3.14～15)					—
5 大井	(1991.6.11～17) 1991.6.18～1993.4.6	2,220	店舗建設		縄文期後半住居1、獨立建物跡、窓、前廊中量東洋式土器、石器、陶器、鍔頭、石器、土器、金物品、土製品	調査会5・町内1	
7 大井241-1	(1992.6.2～17)	157	個人住宅		窓1、溝1、道路通構1、攤土器、鍔頭、石器、陶器	町内B	
10 大井208-1、209-1、210-4	(1998.8.22) 1998.9.19～10.2	1,153.4	ガソリンスタンド ガラス工場		縄文時代～と十六1、近世の近代化跡、近世時代独立柱建物跡1、窓1、ビット24、陶器器、土器、瓦、石製品、金属製品、ガラス工場	町内VI・調査会12集	
11 大井182	(1998.11.9～17)		個人住宅		近世～近代の土坑6、溝5、陶器器、土器、瓦、鐵製品、ガラス工場、土製品、鍔頭	町内諸	
12 大井952	(1998.5.28～6.4) 1999.6.2～4	690	駐車場		溝5、陶器器、瓦器、石器、瓦、瓦質土器、土師器	町内D	
13 大井1-8.1	(2000.11.21～24)	76	事務所		遺構検出なし	町内X	
14 大井苗間129街区2 地面	(2002.5.22～6.6) 2002.6.20～8.9	984	共同住宅		中世の窓9、井戸1、獨立柱建物跡、地下式坑1、茶芝跡1、土坑1	町内X	
15 大井苗間126街区1 地面	(2002.7.24～8.2)	135	個人住宅		土坑1、ビット3	町内III	
16 大井2-24.2	(2003.8.5～22) 2002.8.23～9.5	672	個人住宅		縄文時代の集落の窓10、土坑1、ビット14	町内X	
17 大井1-11.9	2002.11.19～12.2	50	道路		六世～近世の土坑14、ビット13、窓10、鍔頭	町内X	
18 大井・苗間4-6.9	(2003.1.17～2)	476	個人住宅		窓2、陶器器、ミニチュア土器、ガラス瓶	町内X	
19 大井1-6.13	(2005.6.7～8)	1,500	個人住宅		遺構検出なし	町内2	
20 大井1-7.7	(2006.3.2～14)	773	共同住宅		時期不明の窓12、ビット21、縄文土器、陶器	町内2	
21 大井1-7.15	(2006.5.22)	174	個人住宅		遺構検出なし	町内3	
22 大井幸原954-1	(2007.11.27～12.1)	1,962	寺町南裏跡		窓石3、土坑4、ビット25、古代陶器器、石製品	町内4	
23 大井幸原953-1、956-1	(2012.11.7～9) 2012.11.12～14	502.82	専用住宅		近世～近代の土坑10、近世～近代の陶器器、土器、ガラス製品、木製品	町内15	
24 大井幸原959、960	(2014.6.23) 2014.6.25	68.55	宅地		土引1(みびき1)、近世陶器器、瓦物	町内20	
25 大井2-14.1-5一部	(2014.12.15)	414	屋		遺構検出なし	町内20	
26 大井1-1.1～2他	(2015.6.1)	993.73	宅地		遺構なし、石垣1	町内22	
27 大井1-9.5の一部	(2016.9.12)	301	個人住宅		遺構検出なし	未報告	

※町: 大井町町内調査部、溝: 大井町道跡調査会報告、市内: ふじみ野市市内調査部

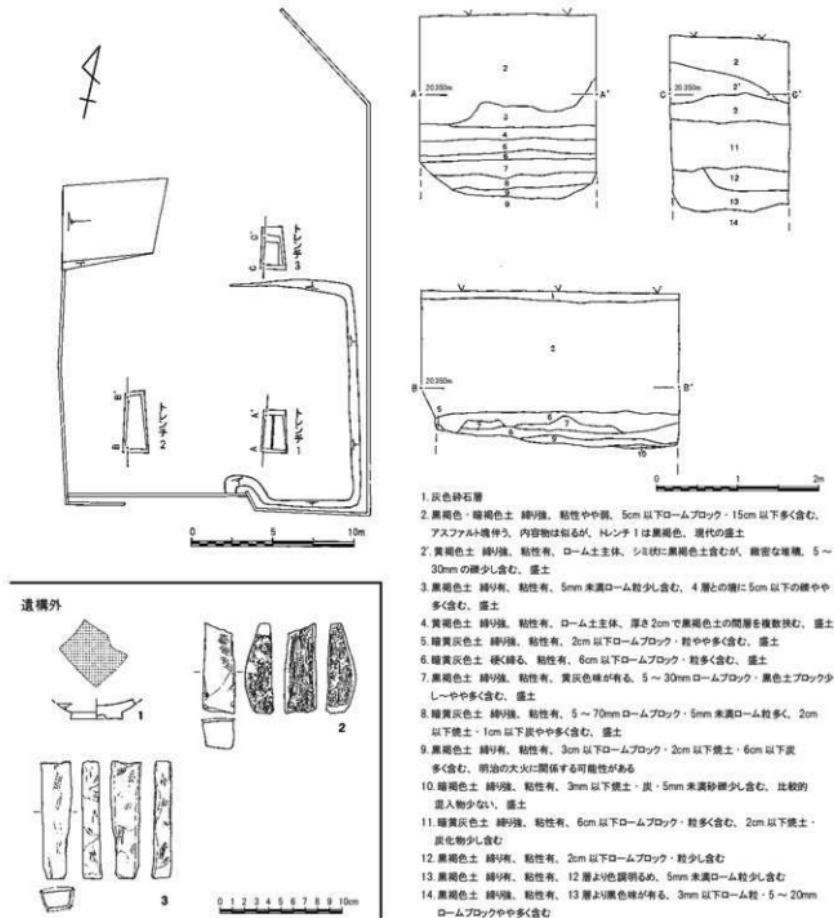


第80図 大井氏館跡遺跡の地形と調査区(1/4,000)

み野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の南部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年6月1日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5mのトレーンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力により表面精査を行った。

調査の結果、表土層が厚く堆積しており、現地表面から2m下まで掘削したが地山ローム層は確認できなかつた。遺構は確認されなかつたため、写真撮影・全測図作成等記録保存を行つたうえで埋戻し、調査を終了した。

表土中より陶器片1点と磁石2点が、現地表面から1.7~2.1m下の焼土と炭化物を含む層から出土した。1は瀬戸・美濃産の陶器碗の底部である。底径4.3cm、高台幅が1.3cmである。底部を除いた内外面に鉄軸を施す。18世紀後半~19世紀前半に帰属する。2・3はどちらも流紋岩製の磁石である。2は長さ7.4cm、幅2.7cm、厚さ2.3cm、重量67.9gで灰色を呈する。3側面に櫛目状形成痕が認められる。3は長さ9.6cm、幅2.4cm、厚さ1.4cm、重量56.78gで灰白色を呈する。上州産である。



第81図 大井氏館跡遺跡第26地点調査区域図(1/300)、土層(1/60)、出土遺物(1/4)

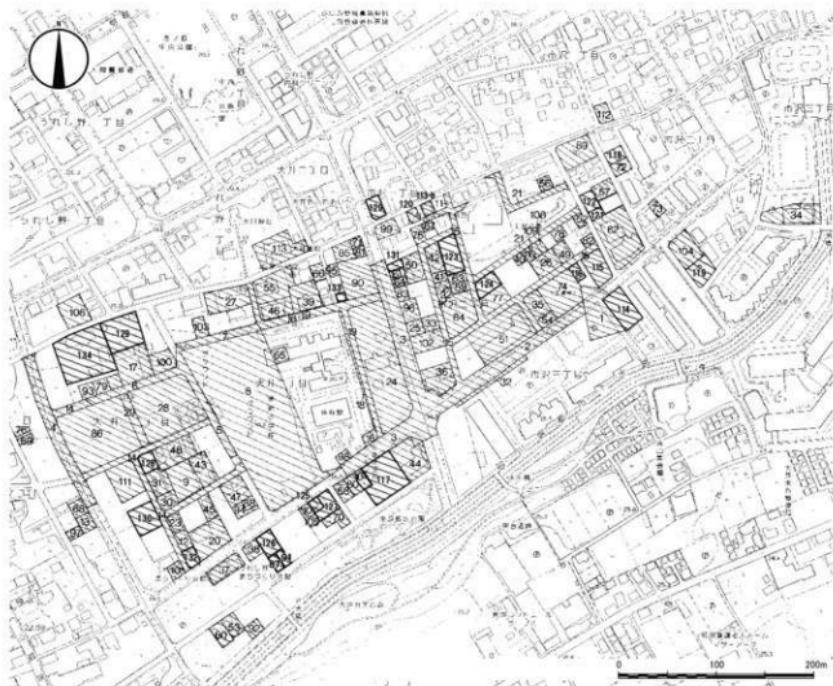
I 遺跡の立地と環境

本村遺跡は、東武東上線ふじみ野駅の南西約800m、砂川堀の左岸で標高15～20mに位置する。遺跡内には旧砂川の流路であった埋没河川が幾筋も認められ、それに取り残されるように微高地が存在する。砂川堀は狹山丘陵外縁に湧水を成し、武藏野台地上を南西から北東に流れ新河岸川に合流する。

砂川堀の流域には多くの遺跡で、旧石器時代からの人々の活動の跡をみることが出来る。現在においても砂川の果たす役割は当時にも増して大きいものであるが、残念ながらその役割は大きく異なり、用水機能としての砂川から排水機能の砂川堀と言うのが現在の状況である。市内を流れる砂川堀も河川改修により、その姿を都市下水路に変え、往時を忍ばせる面影は残されていない。

周辺の遺跡では、砂川堀を挟んで縄文時代中期の大集落と奈良平安時代の製鉄関連遺跡である東台遺跡、旧石器時代の大井戸上遺跡と西台遺跡が位置する。左岸には旧石器時代～縄文時代の小田久保遺跡、旧石器時代～近世の大井氏館跡遺跡が位置する。本遺跡が中世から近世にかけての中心的な集落とするならば、大井氏館跡遺跡は近世川越街道整備以後の中心的な宿場および集落とみることができる。いずれにしても、町内における砂川堀流域の本村遺跡周辺は旧石器時代から現代にかけて良好な生活・住環境であったことがわかる。

2018年4月現在134地点で調査を行い、旧石器時代の疊群・石器集中、縄文時代の落とし穴・炉穴、中世～近世の掘立柱建物跡・方形竪穴状遺構・井戸・溝・柵列・地下式壙・茶毬跡などを多数検出している。



第82図 本村遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第49表 本村遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間(年)	は試験調査	面積(m ²)	調査深度	確認された遺構と遺物	所収報告書
1.	市沢2-10、市沢3-1-2(井戸塗1)	1988.8.22~30		2,000	地表附近	遺構遺物なし	なし
2.	大沢20-1(井戸塗2)	1989.1.9~12.4		2,500	土地区画整理	田代1、櫻文、礫石、落とし穴、土坑	大沢7
3.	大沢111、113-1-2、114-1、115-1、262(井戸塗3)	1988.9.5~1989.1.3		3,600	土地区画整理	櫻文とし穴、土坑、中世:井戸、土坑、溝、掘立柱建物跡、地下式坑	大沢7
4.	大沢2-20(東原1)	1978.7.27~8.5		40	町内埋蔵事業	遺構遺物なし	大沢2
5.	大沢2-20(東原2)	1979.4.7~5.2		130	町内埋蔵事業	地表式坑、ビット1、土坑	大沢2
6.	大沢2-20(東原3)	1979.4.7~5.2		130	町内埋蔵事業	地表式坑、ビット1、土坑	大沢2
7.	大沢189、190、191、192(東原4)	1981.7.8~1988.1.29		1,872	土地区画整理	櫻文、落とし穴、中世:井戸、第六天	大沢7
8.	大沢143、144(東原5)	1989.1.3~2.3		1,600	土地区画整理	中世:井戸、櫻文、掘立柱建物跡	大沢7
9.	大沢145、160、164(東原6)	1989.5.15~6.15		1,565	土地区画整理	櫻文とし穴、落とし穴、中世:土坑、溝	大沢7
10.	大沢134の1(東原7)	1989.8.2~31		500	土地区画整理	櫻文C式土器、甕、盆内式土器	大沢7
11.	大沢134	(1989.9.11~13)	は試験調査	13,161	小学校グラウンド	櫻文:落とし穴、中世:土坑、溝、掘立柱建物跡	大沢4・東原X
12.	大沢134	1989.9.30~1991.7.11		200	データベース	遺構・遺物	なし
13.	大沢172-1	1990.1.2~28		370	土地区画整理	櫻文とし穴	大沢X
14.	大沢67-3、7-27	(1990.3.7~27)		370	土地区画整理	田代の道の遺構落ち込み	大沢X
15.	大沢240、241-1	1990.5.8~9		340	個人住宅	土坑、案内渠	大沢X
16.	大沢180	1990.7.25~26		428	個人住宅	土坑	大沢X
17.	大沢151、152、154~157	1990.9.17~10.31		2,160	土地区画整理	井戸1、井戸36、溝4	大沢7
18.	大沢100、106~109、344	1990.10.11~11.30		2,820	土地区画整理	井戸1、井戸36、溝6、掘立柱建物跡1	大沢7
19.	大沢10-2	(1990.11.6~13)		230	学保施設	井戸1、2	大沢X
20.	大沢146、149	1991.1.1~3.7		1,270	事務所	櫻文、窓、ドック1、櫻文:井戸1、洞戸1、地下水式坑1、洞戸1	大沢3
21.	大沢110	1991.4.1~6.11		252	ファンク工業	田代式坑、櫻文2、中世:井戸6、溝4、地下水式坑5、土坑15	大沢3
22.	大沢110-2	1991.4.1~6.11		1,420	土地区画整理	田代:井戸2、中世:井戸6、溝4、地下水式坑5、土坑16	大沢7
23.	大沢25-1	1991.5.21~6.14		1,150	個人住宅	井戸2、土坑3、溝3	大沢7
24.	大沢83-1、364	1991.6.17~8.31		1,772	土地区画整理	井戸1、溝6、地下水式坑2、土坑6、斜穴式	大沢7
25.	大沢106、109	1991.7.15~31		110	個人住宅	櫻文とし穴、石器、陶器、瓦ガラス、瓦、鐵鉢、金	大沢7
26.	大沢169	1991.8.29~30		268	個人住宅	櫻文とし穴	大沢7
27.	大沢110-2	(1992.1.6~13)		230	学保施設	井戸1、2	大沢X
28.	大沢110-2	1992.2.28~7.31		4,646	土地区画整理	井戸1、櫻文、ドック1、櫻文:井戸24、地下水式坑10、掘立柱建物跡、溝6、土坑4	大沢7
29.	大沢107	(1992.3.5~12)		370	食糧建設	ピット	駒田Ⅱ
30.	大沢348、369、3700-1部	(1992.10.6~7)		5757	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
31.	大沢145	(1992.10.7)		1,101	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
32.	大沢2-2、137、143、150、152、159、373-1	1992.12.1~1993.2.28		4,358	土地区画整理	櫻文と井戸、中世:切2、井戸3、地下水式坑2、掘立柱建物跡、溝6、土坑4	大沢7
33.	大沢1-1、20-1	1993.5.20~6.4		330	土地区画整理	井戸1、櫻文2、中世:井戸2、土坑	大沢7
34.	大沢155	(1993.7.26~7.30)1993.8.6~75		411	個人住宅	櫻文とし穴、井戸1、ピット2	駒田Ⅱ
35.	大沢154、155	1994.8.4~5		484	共同住宅	井戸2、櫻文と式坑2、溝1、土坑14	大沢7
36.	大沢351	1994.9.19~25		14,310	共同住宅	櫻文とし穴	駒田Ⅱ
37.	大沢107、427-1	1994.11.11		337	駐車場造成	井戸と式坑	駒田Ⅱ
38.	大沢533-5	1994.12.2~3		1,013	古用住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
39.	大沢537-1	(1994.4~12)		452	古用住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
40.	大沢101-9-10	(1994.7.28~8.4)1994.9.2~10.31	は試験調査	890	古用住宅	井戸1、櫻文2、溝1、土坑1、中世:井戸2、溝3、-	大沢12
41.	大沢251	(1994.9.31~9.2)		596	事務所	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
42.	大沢253	(1994.9.30~9.7)		264	個人住宅	中世~近世の墓1	駒田Ⅱ
43.	大沢174-1	(1994.11.9~16)		805	共同住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
44.	大沢371-1	(1994.11.22)		131	寺地分限	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
45.	大沢525	(1994.11.25~22)1994.11.29~12.7		634	寺地分限	近世のゴミ2	大沢2
46.	大沢326	(1994.11.25~22)1994.11.29~12.7		634	寺地分限	近世のゴミ2	大沢2
47.	大沢533-2	(1995.1.17~12)1995.2.23~2.29		704	寺地分限	中世:井戸1、櫻文と式坑1、土坑3、溝1、土坑5	大沢12
48.	大沢387-1	(1995.2.17~28)1995.4.10~5.25		1,198	古用住宅	櫻文とし穴、土坑1、土坑3、中世:井戸1、溝1、土坑1、櫻文と	大沢12
49.	大沢156	(1995.6~17)		324	個人住宅	櫻文とし穴2、中世:井戸2、土坑3、-、ピット23	駒田Ⅱ
50.	大沢206	(1995.6~17~28)		744	古用住宅	中世:井戸1、ピット7、南側河川床	大沢7
51.	大沢253、255	(1995.7~28~28)		605	寺地分限	土坑2	駒田Ⅱ
52.	大沢140	(1995.9.18~19)1995.9.30~11.20		1,122	寺地分限	中世:井戸1、櫻文と式坑1、土坑3、-、中世:井戸1、櫻文と式坑1、土坑14	大沢12
53.	大沢333	(1996.1.10~13)1996.1.16~2.3		280	個人住宅	櫻文と式坑1、井戸1、ピット51、北側埋立河川	駒田Ⅱ
54.	大沢106	(1996.2.20~24)		571	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
55.	大沢350、360b	(1996.3.21~27)1996.4.3~5.30		2,412	共同住宅	井戸1、櫻文:落とし穴、集石と式坑2、中世:井戸2、土坑1、櫻文	大沢12~駒田Ⅱ
56.	大沢328	(1996.7.10~7.25)		140	倉庫	地下水式坑1、櫻文と式坑1、土坑6、ピット24	駒田Ⅱ
57.	大沢243-2、244-1、289-1	(1997.4.7~6.25)		275	個人用住宅	櫻文1、土坑1~6、溝1	駒田Ⅱ
58.	大沢491-2	(1997.4.17~20)		207	個人住宅	櫻文と式坑	駒田Ⅱ
59.	大沢125-1、38-2	(1995.6.23~30)1996.6.25~7.31		936	共同住宅	井戸1、石器群2、櫻文5、中世:溝1、土坑26、楊柳、拂土、	大沢12~駒田Ⅱ
60.	大沢202-1	(1996.6.18~19)1996.6.24~6.7		243	個人住宅	地下水式坑1(1点)で確認の地下水式坑1	大沢12~駒田Ⅱ
61.	大沢331	(1996.6.28~29)		300	古用住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
62.	大沢219、282	(1996.12.24~1997.1.9)		284	店舗併用住宅	土坑1	駒田Ⅱ
63.	大沢365-2	(1997.1.7~12)		331	古用住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
64.	大沢129	(1997.4~16)		230	刀削式	櫻文と式坑1~2	駒田Ⅱ
65.	大沢76	(1997.4~16)		134	個人住宅	櫻文と式坑	駒田Ⅱ
66.	大沢342	(1997.4.30~7.18)		391	共同住宅	井戸1~2、櫻文:落とし穴、集石と式坑2、中世:井戸2、土坑1、櫻文	大沢12~駒田Ⅱ
67.	大沢380	(1998.10.1~11.1)		154	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
68.	大沢2-2	(1998.10.1~18)		134	個人住宅	ピット1	駒田Ⅱ
69.	大沢110-2	(1998.8.16~8.26)		391	学校施設	井戸1~2、櫻文5、中世:溝1、土坑2、ピット13	大沢12
70.	大沢1-2	(1999.2~29)		140	個人住宅	櫻文と式坑	駒田Ⅱ
71.	大沢1-4	(1999.2~29)		302	個人住宅	櫻文と式坑1~6	駒田Ⅱ
72.	大沢1-4-5	(1999.3~34)		116	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
73.	大沢12-7	(1999.3~4)		354	個人住宅	櫻文と式坑1	駒田Ⅱ
74.	大沢1-2-7-3	(1999.10.1~2)		116	個人住宅	ピット1	駒田Ⅱ
75.	大沢2-12-12	(1999.11.1~2)		210	アスファルト駐車場	ピット	駒田Ⅱ
76.	大沢1-14-1	(1999.11.1~2)		156	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
77.	大沢1-2-3-6-7	(1999.11.1~20)1999.2.8~17	は試験調査	1,495	個人住宅	井戸1~4、櫻文と式坑2、土坑2、ピット18、櫻文1	駒田Ⅱ
78.	大沢2-2	(1999.11.1~20)		354	個人住宅	櫻文と式坑1~6、中世:井戸1~3、櫻文と式坑1~6、中世:井戸1~3、櫻文と式坑1~6	駒田Ⅱ
79.	大沢1-4-6	(1999.11.1~18)		118	個人住宅	櫻文と式坑1~6	駒田Ⅱ
80.	大沢2-2-6	(1999.9.20~)		538	駐車場造成	ピット1	駒田Ⅱ
81.	大沢1-19-9	(1999.10.2~30)		158	個人住宅	ピット1	駒田Ⅱ
82.	大沢2-11-2	(1999.10.26~30)		204	個人住宅	櫻文と式坑2、ピット1	駒田Ⅱ
83.	大沢1-7-3	(1999.11.2~10)		117	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
84.	大沢1-6-11	(1999.11.2~10)		171	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
85.	大沢1-8-4	(1999.12.9~13)		181	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ
86.	大沢2-7-6	(1999.12.4~2000.1.31)		1,310	共同住宅	櫻文:落とし穴、中世:母切、井戸2、櫻文跡1、掘立柱建物跡10、土坑26、溝2、櫻文2	大沢15
87.	大沢2-7-7	(2000.2.2~3.6)		409	個人住宅	遺構遺物なし	駒田Ⅱ

地點	所在地	調査期間()	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所収箇所番号
86	大井2-19-1~4+14	(2000.4.19~21) 2000.5.15~6.29	5,745	公衆浴場	古代:木炭窯1、中世:切妻造軒付窯1、鉢切1、地下式坑5、戸戸6、鍋15、土器窯97、機械2、ビット331	大井15~町内X
87	大井2-12-2	(2000.5.31~6.3)	165	個人住宅	羽川流域路、ビット3	町内X
88	大井2-17-6	(2000.6.27~7.3)	154	個人住宅	用水路	町内X
89	市井2-11-1~2	(2000.7.19~8.1)	326	分譲住宅	織文・藻と六1、イモビツ	町内X
90	大井2-7-4~5	(2000.8.31~9.22)	540	店舗	織文・集石1、近世遺	町内X
91	大井2-12-2	(2000.9.25~27)	37	個人住宅	羽川流域路	町内X
92	大井2-20-1	(2001.1.1~2)	25	個人住宅	羽川流域路	町内X
93	大井2-20-2	(2001.1.16~17)	261	個人住宅	羽川流域路	町内X
94	大井2-18-6	(2001.2.17~19) 2001.2.20~3.6	87	個人住宅	中世:鍬6、土坑1、ビット7、近世:湯4	町内X
95	大井2-7-10	(2001.3.6~9)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
96	市井2-8-5	(2001.7.10~13)	99	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
97	大井1-7-11	(2001.7.11~12)	41	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
98	大井2-9-3	(2001.12.17~19)	17	学習保育所	湯2	町内X
99	市井2-2	(2002.6.19~21) 2002.7.1~31	300	共同住宅	白石窯、薄御4、石窯窯中1、中世:土坑4、織物1	大井15~町内X
100	大井2-20-7	(2002.8.20~21)	463	分譲住宅	遺構遺物なし	町内X
101	大井2-11-9	(2002.9.10~14)	217	分譲住宅	遺構遺物なし	町内X
102	市井2-8	(2003.1.11~15) 2002.12.11~2003.2.10	1,364	共同住宅	織文:落とし窯、古代由序:井戸7、柱穴羽2、窓4、土坑11、道筋付遺構	大井15
103	大井143	(2003.2.13~18)	237	個人住宅	土坑1、ビット1	町内X
104	市井3-4-1	(2003.5.14~30)	804	共同住宅	織文:仰64、中世:切妻造窯、地下式坑2、窓3、土坑4、ビット36	町内X
105	大井2-2-2-4	(2003.6.4~6)	131	個人住宅	土窓1	町内X
106	大井2-7-11	(2003.7.2~8)	135	分譲住宅	遺構遺物なし	町内X
107	大井2-12-8	(2003.7.3~5)	130	個人住宅	土窓1、土坑1、ビット1	町内X
108	市井2-2-25	(2003.7.17~23)	109	個人住宅	ビット5	町内X
109	市井2-2-26	(2003.7.17~23)	114	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
110	市井2-2-27	(2003.10.16~18)	101	個人住宅	遺構遺物なし	町内X
111	大井2-16-2	(2003.11.21~12.11)	1,033	分譲住宅	織文:仰61、馬糞木舟2、中世:窓1、地下式坑2、土坑1、木炭窯1、近世遺構1、ビット10	大井21
112	市井2-17-16	(2004.7.27)	289	共同住宅	遺構遺物なし	町内X
113	大井2-4-8	(2002.8.22)	1,051	分譲住宅	遺構遺物なし	町内X
113a	市井2-2-3	(2005.5.9~10)	22	個人住宅	梯形の一部	町内2
114	市井3-2-1-12	(2005.10.21~28)	129	分譲住宅	遺構遺物なし	町内2
115	市井3-10-6	(2005.11.21~29)	170	分譲住宅	中世掘立柱建物跡、井戸、土坑、ビット、窓	町内2
116	市井2-10-4の一部	(2006.1.1~10)	1,006	個人住宅	遺構遺物なし	町内2
117	市井2-12-2-4	(2006.3.12~4.14)	1,487	個人住宅	土窓1、土坑1、梯形	町内2
118	市井2-12-13	(2006.5.24~25) 2006.6.25	80	個人住宅	織文:落とし窓1	町内3
119	市井3-3-24	(2008.5.27~6.4) 2008.6.4~25	559	共同住宅	中世:地下式窓2、土坑16、ビット58	町内5~6
120	市井2-2-2	(2008.12.18)	141	個人住宅	遺構遺物なし	町内6
121	市井2-11-9	(2009.4.22)	150	個人住宅	遺構遺物なし	町内8
122	市井2-11-9~26-27	(2009.5.27~6.3)	301	半地造窓	中世:地下式窓	町内8
123	市井2-2-7	(2010.5.7~9)	61957	宅地造成(4名庭)	遺構遺物なし	町内10
124	市井2-12-2	(2010.6.1~7) 2010.7.12	428	半地造(4名庭)	半地造窓	町内10
125	市井2-12-37	(2010.9.6)	1,000	個人住宅	遺構遺物なし	町内10
126	市井2-2-2	(2010.10.4~6)	611	個人住宅	遺構遺物なし	町内10
127	大井2-12-5~16+18	(2010.11.4~8)	412	分譲住宅	遺構遺物なし	町内10
128	大井2-18-1	(2011.11.17~27)	327	分譲住宅	中世窓2、井戸1、ビット9、土器片	町内20
129	市井1-1-8	(2014.8.26)	262	個人住宅	遺構遺物なし	町内15
130	大井2-20-4	(2015.11.5~13)	1,255.99	半地造窓	ビット1、陶組脚	町内22
130	大井2-16-17	(2015.11.16~20)	776	分譲住宅	土坑1、ビット3、土器片	町内22
131	市井2-8-2	(2016.3.4~8)	135.18	共同住宅	遺構遺物なし	町内22
132	市井2-2-29	(2016.3.20~26)	1,012	個人住宅	遺構遺物なし	未報告
133	大井2-2-6	(2016.10.11)	107.54	個人住宅	ビット3、遺物なし	未報告
134	大井2-20-2-3-9	(2017.6.5~19)	2,670.63	半地造窓(開発道路跡)	遺構遺物なし	未報告

大湖~大井町縄糞貯食台、大史~大井町料宅、東部~東部道路群、町内~町内道路群、市内~市内道路群

II 本村遺跡第129地点

(1) 調査の概要

調査は宅地造成に伴うもので、原因者より2015年8月20日付けて「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の北東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月5日~13日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5~1.7mのトレンチ9本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約30~100cmである。

調査の結果、ビット1基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。

また、トレンチ6・9以外で旧石器時代の調査を実施した。1m四方のトレンチを2.5~3m間隔を基本として設定し掘削を行ったが、遺構・遺物は確認されなかった。

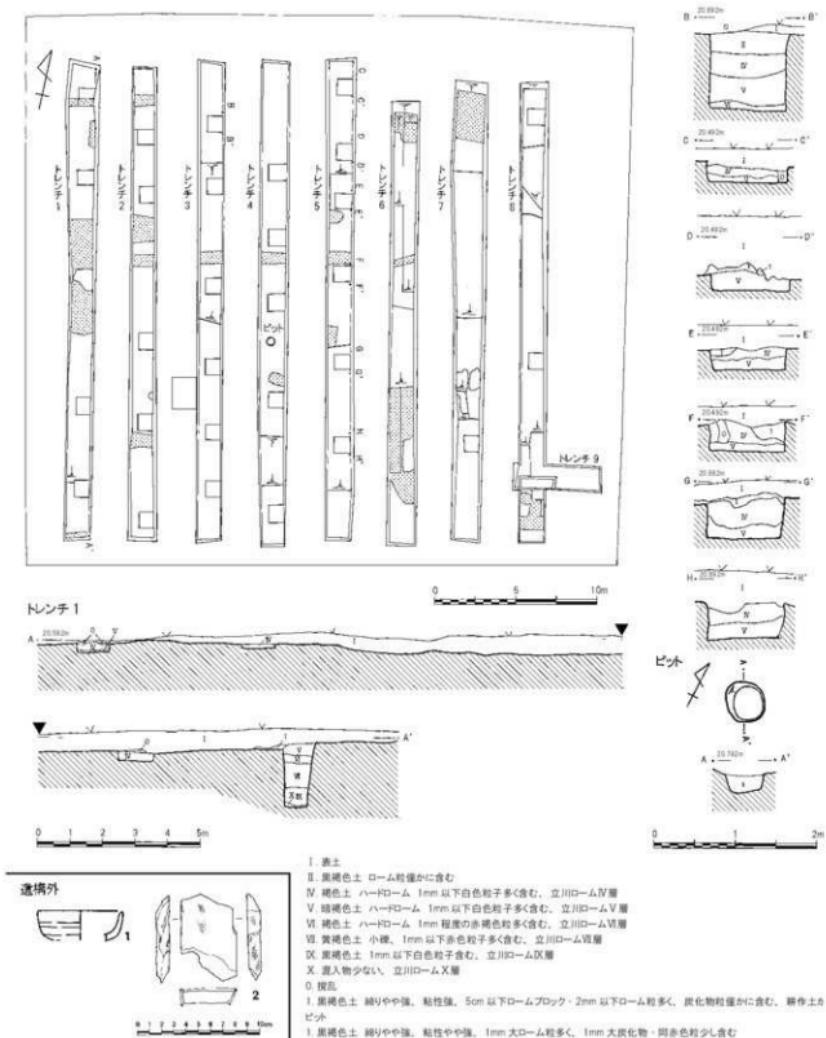
(2) 遺構と遺物

①ビット

ビットは調査区中央部、トレンチ4で検出した。平面形態は円形で、遺構の規模は確認面径49×47cm、底径41×36cm、深さ27.1cmである。土層の観察より中近世以降と推測される。出土遺物はない。

②出土遺物

出土遺物は2点で、どちらも遺構外の表土中より出土した。1は陶器小壺の破片である。推定口径は(7.0)cmで高台等は欠損しているため不明である。内外面に灰釉を施す。瀬戸・美濃産で18世紀後半~19世紀に帰属するものと考えられる。2は砥石の破片で、長さ(7.1)cm、幅4.5cm、厚さ(1.0)cm、重量43.35gである。にぶい赤橙色の粘板岩製で、3面に使用痕が確認できる。近世以降と考えられる。



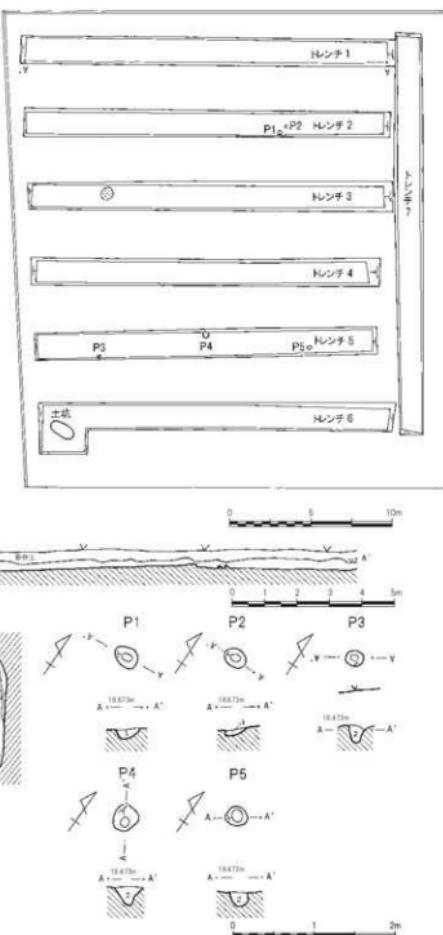
第83図 本村遺跡第129地点遺構配置図(1/300)、土層(1/60・1/150)、ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

III 本村遺跡第130地点

(1) 調査の概要

調査は分譲住宅建設に伴うもので、原因者より2015年10月23日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の西部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年11月16日～20日に試掘調査を実施した。調査は幅約1.5～1.7mのトレンチ7本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面から地山ローム層までの深さは約50～60cmである。

調査の結果、土坑1基とピット5基を検出した。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は実施していない。



1. 前褐色土 細い強、粘性強、10cm 大ローム粒多く含む
土坑
1. 前褐色土 細い強、粘性強、1mm 大ローム粒多く含む
2. 黒褐色土 細い強、粘性強、1層+4cm 以下ローム粒多く、黒色土シミ状に含む
3. 前褐色土 細い強、粘性強、1mm 以下ローム粒少し含む
4. 前褐色土 細い強、粘性強、3層+ローム粒多く、黒色土シミ状に含む
5. 前褐色土 細い強、粘性強、2cm 以下ローム粒多く、1mm 以下ローム粒少し含む
6. 黄褐色土 細いやや強、粘性強、2cm 以下ローム粒混在
7. 黄褐色土 細いやや強、粘性強、2cm 以下ローム粒混在
8. 黑色土 細い強、粘性強、1mm 以下ローム粒僅かに含む
9. 前褐色土 細い強、粘性強、1mm 以下ローム粒少し、礫混入する
10. 前褐色土 細い強、粘性強、2cm 以下ローム粒多く・1mm 大ローム粒少し。
黒色土をシミ状に、小礫混入する
- ピット
1. 黒褐色土 細いやや弱、粘性やや弱、3cm 以下ローム粒多く含む
2. 前褐色土 細い強、粘性強、1mm 以下ローム粒多く含む

遺構外



第50表 本村遺跡第130地点ピット一覧表（単位cm）

新No	平面形態	確認面径	底径	深さ
1	円形	31×25	13×10	13
2	円形	28×21	11×10	12
3	円形	21×18	10×7	20
4	方形	33×32	11×10	22
5	円形	27×23	16×13	16

第84図 本村遺跡第130地点遺構配置図(1/300)、土層(1/150)、土坑・ピット(1/60)、出土遺物(1/4)

(2) 遺構と遺物

①土坑

土坑は調査区の南西、トレンチ6の西端で検出した。平面形態は楕円形で、遺構の規模は確認面径 161 × 72 cm、底径 141 × 65 cm、深さ 79.6 cm である。土層の観察から近世以降に帰属するものと考えられる。出土遺物はない。

②ピット

調査区内で検出した5基のピットの詳細については第50表に掲載した。いずれも土層の観察から中近世以降のものと思われる。出土遺物はない。

③出土遺物

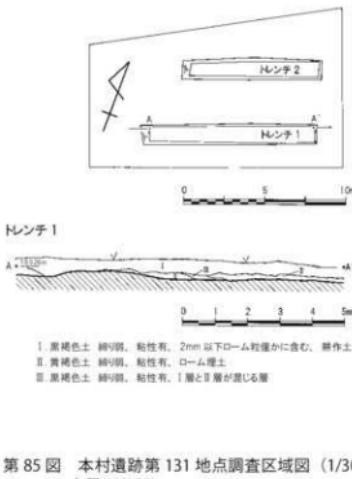
遺構外で小型の深鉢土器の底部破片が出土した。底径は推定約 6.5 cm で、外面及び底部に丁寧にミガキを施す。胎土に黒色粒子と微細な白色粒子を含む。底部中心の厚みがなく、最も薄い部分では 5 mm 程度である。縄文時代中期か。

IV 本村遺跡第131地点

(1) 調査の概要

調査は共同住宅建設に伴うもので、原因者より2016年3月1日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の中央部やや北側に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2016年3月4～8日に試掘調査を実施した。調査は幅約 1.2m のトレンチ 2 本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。

本地点は埋没河岸の上に位置しており、大井・苗間第一土地区画整理時に黒色土を全て漉き取り、ローム質の黄褐色土と黒色土を盛土している。調査の結果、現地表面から 80 cm 下でも地山ローム層は確認できなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の確認調査は行っていない。



第85図 本村遺跡第131地点調査区域図 (1/300)、
土層 (1/150)

第22章 東台遺跡の調査

I 遺跡の立地と環境

東台遺跡は東武東上線ふじみ野駅の南約1km、砂川堀右岸の台地上に位置する。砂川堀は挟山丘陵外縁に湧水を成し、武藏野台地上を南西から北東に流れて新河岸川に合流する。標高は24～26mで砂川堀との比高差は約5mで急崖を成し、左岸が緩やかな傾斜を成すのとは対照的である。

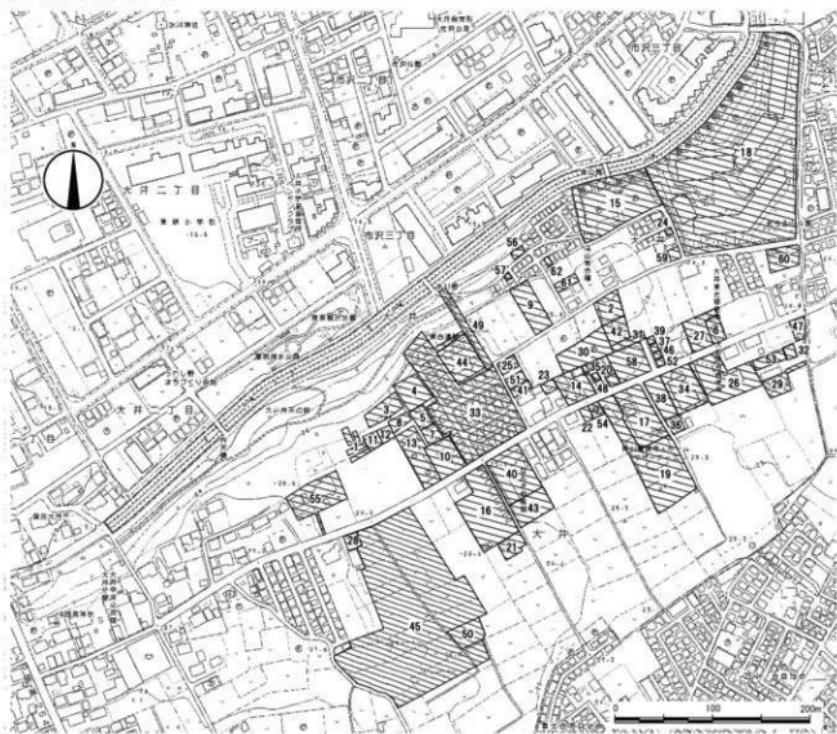
遺跡内には砂川堀に向かって小さな埋没谷が數本確認されている。遺跡の範囲は東西700m、南北250m、遺跡面積約170,000m²、市内で最大規模の遺跡であり、約17%の30,000m²を調査している。

2018年4月現在、62地点で調査を行っている。旧石器時代の調査では、第18地点の調査で埋没谷に沿った崖沿いにVI・VII層・IV層下部のナイフ型石器を伴う礫群等が分布する。

縄文時代の調査では、住居跡等多数の遺構と遺物が確認されている。特に中期の住居跡は双環状に配置しており武藏野台地縁辺部における拠点集落の一つである。

奈良・平安時代には遺跡の北東部の第15・18地点で8世紀後半の製鉄炉や木炭窯など、県内でも有数の規模と古さを誇る製鉄関連遺跡を検出している。

周辺の遺跡は、砂川堀右岸の西約50mに大井戸上遺跡、西約300mに旧石器時代の西台遺跡が位置する。また、砂川堀を挟んだ左岸に旧石器時代～近世の本村遺跡と大井氏館跡遺跡が位置する。今後、旧石器時代では西台遺跡・本村遺跡との関係が、奈良・平安時代から中世にかけては本村遺跡、大井氏館跡との関係が注目される。



第86図 東台遺跡の地形と調査区 (1/5,000)

第51表 東台遺跡調査一覧表

地点	所在地	調査期間()は試掘調査	面積(m ²)	調査原因	確認された遺構と遺物	所轄管轄
1 大井東台		1981.		町史編纂	道様なし。鐵文中期土器	
2 大井東台640-4		1981.12.14~1982.2.13	667	宅地造成	鐵文中期住居跡12。旧石器時代石器	東田
3 大井東台672		1982.5.19~6.15	666	宅地造成	炉穴7、土坑2、柱穴群	東田
4 大井東台671		1982.6.17~11.18	587	農地転用	旧石器土ニット、鐵文中期住居跡1、後期住居跡1。集石4、土坑4、溝	東田IV
5 大井東台		1983.7.25~8.9	195	町史編纂	鐵文中期住居跡2、土坑1	東田遺跡
6 大井東台		1984.1.9~1.12		宅地造成	鐵文中期住居跡1	
7 大井東台670-2		1984.5.15~6.13		共同住宅	鐵文中期住居跡4、後期住居跡1	
8 大井東台672		1984.8.18~9.21	345	町史編纂	鐵文中期住居跡1。炉穴2、土坑14	東田遺跡II
9 大井東台		1984.6.02~1985.2.21	1,000	駐車場	旧石器群、鐵文中期住居跡22。後期住居跡1。炉穴、ビット群	新資
10 大井東台670-1		1985.10.1~11.25	896	住宅	鐵文中期住居跡5、土坑5	東田VI
11 大井東台673		1986.1.14~3.20	660	宅地造成	鐵文中期住居跡2、集石土坑3、土坑1、ビット	東田VI
12 大井東台673		1987.5.6~6.26	330	転地返し	鐵文中期住居跡1、土坑18、平安時代住居跡2、溝1	東田VII
13 大井東台670-6		1988.1.14~2.27	971	倉庫	鐵文中期住居跡9。集石1、土坑9、ビット20	東田VIII
14 大井東台649-16箱		1988.1.27~2.24	735	住宅	鐵文中期住居跡12。屋外埋蔵1、集石土坑1、土坑8、ビット38	東田IX
15 大井市沢77-1他		(1989.10.17~11.10) 1989.11.17~1990.8.1	700	住宅	落とし穴1。木床塗1。粘土探鉢坑2、草土・平安土器	東田X
16 大井713-4~5		(1990.8.1~4)	3,048	木材販賣場	鐵文中期住居跡1。土坑1	東田XI
17 大井621-1		(1990.9.5~12) 1990.10.9~12.27	1,470	診療所	鐵文中期住居跡8、土坑30、ビット94、柵列	東田XII
18 大井529-1, 588		(1991.3.1~5.20) 1992.2.24~1994.7.5	20,000	共同住宅	旧石器群、鐵文中期住居跡17。落とし穴1。鋤形打鉄炉7、木床塗9、探鉢坑4、土坑9、溝、柵列、道路跡、平安土器	東田製鉄道路
19 大井621		(1992.5.31~6.7)	4,489	特養新設	鐵文中期住居跡8	町I
20 大井649-27		1992.1.30	5	個人住宅	鐵文中期住居跡1	町III
21 大井713-11-12		1992.3.7~11	299	個人住宅	道様無し。鐵文土器片	町III
22 大井651-6		(1994.5.10~11) 1994.5.30~7.30	146	因縫	鐵文中期住居跡6、土坑1	調査集
23 大井649-12-13		(1995.2.3~27)	285	個人住宅	鐵文中期住居跡2	町IV
24 大井634-20		(1995.7.6)	58	個人住宅	鐵文中期集石、土坑	町IV
25 大井648-13-14		1995.10.22~12.16	296	個人住宅	鐵文中期住居跡5、後期住居跡1。袋狀土坑1、土坑10、ビット6	町IV
26 大井東台601-1~4・5		(1996.11.6~18) 1997.1.16~3.18	2,248	共同住宅	鐵文中期住居跡1、土坑3、落とし穴1、ビット24	調査集
27 大井600-1		(1997.2.19) 1997.2.19~3.14	965	個人住宅	鐵文中期住居跡1。炉穴1、土坑1、落とし穴1、ビット44	町VI
28 大井東台70-10		(1997.3.17~7.19)	231	個人住宅	鐵文中期住居跡1	町VI
29 大井東台606-3		(1998.2.27~3.31) 1998.3.4~5	500	個人住宅	鐵文中期住居跡6、9、ビット2	町VII
30 大井640-1		(1998.3.14~12)	1,330	駐車場	鐵文中期住居跡1、屋外柵、ビット	町VIII
31 大井630-3, 640-8		(1999.5.7~21)	186	道路施設	鐵文中期住居跡2	町IX
32 大井603-1		(2000.8.4~9)	92	製茶工場	ビット2	町X
33 大井662-1		(2000.8.4~8) 2000.8.10~2001.1.25	7,076	分譲住宅	石器群4、理頭4、鐵文中期住居跡30。後期住居跡4。袋狀土坑4、10、集石土坑4、8	町X
34 大井東台624-2		(2002.3.17~25) 2002.3.26~5.8	1,414	共同住宅	鐵文中期住居跡5、土坑11、ビット16	町XI
35 大井東台649-1		(2001.9.6~8)	48	個人住宅	鐵文中期住居跡1	町XI
36 大井東台614		(2001.10.15~11.2)	272	倉庫	ビット5、土器片	町XI
37 大井東台26-12		2001.10.12~11.5	100	個人住宅	鐵文中期住居跡2、ビット1	町XI
38 大井東台614-3		(2002.1.28~2.15)	787	駐車場	鐵文中期住居跡1。袋狀土器2、集石土坑2、土坑2、ビット2	町XI
39 大井626-8		(2002.6.3~20)	100	個人住宅	ビット3、鐵文土器片、石器	町XI
40 大井661		(2003.10.6~11.4)	1,875	幼稚園	土坑6、ビット10、柵列	町XI
41 大井東台648-4		(2004.5.17~14)	182	個人住宅	鐵文中期住居跡3。集石1、土坑1、屋外ビット1	町XI
42 大井640-7		(2004.9.7~17)	515	教会	鐵文中期住居跡2。落とし穴1。土坑3、ビット20	町XI
43 大井東台661-1		(2005.1.13)	964	幼稚園	ビット4	町XI
44 大井東台644-15		2005.1.28~28	200	個人住宅	鐵文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ビット9	市2
45 大井東台710-1, 711-1, 717-2		(2006.5.3~10) 2006.9.8~2007.3.7	7,971	街台・学校	鐵文中期住居跡1、後期住居跡2、土坑5、ビット10	市3
46 大井東台626-11		(2006.9.4~6) 2006.9.15~28	100.02	個人住宅	鐵文中期住居跡2。集石2、土坑1	市3
47 大井東台602-4~5		(2006.9.19~26)	320	個人住宅	道様無し	市3
48 大井東台649-21		(2007.1.16~26)	60	個人住宅	鐵文中期住居跡3	市3
49 大井東台646, 647-1, 665		(2008.1.28~30, 2.4~19) 2008.1.31~2.1	174	街台・学校	鐵文中期住居跡1。袋狀土器1、土坑1、ビット1、溝6	市4
50 大井東台716-1の一部		2008.7.14~22	646	街台・学校	道様遺物なし	市6
51 大井東台648-2		(2009.3.10~10) 2009.3.18~5.7	296	個人住宅	鐵文中期住居跡6、土坑4、ビット14、鐵文土器、石器	市6
52 大井東台626-8~14		2009.5.12~19	100	分譲住宅	鐵文中期住居跡2、2種	市8
53 大井東台603-1		(2011.8.8~18)	1,251	工場	戶井1、鐵文土器	市14
54 大井東台651-6~13~14		(2011.9.5~12)	309.3	工場	鐵文中期住居跡1。鐵文土器	市14
55 大井東台64-2~3		(2011.9.20~22)	1,268	個人住宅	道様遺物なし	市14
56 大井東台市沢49-6		(2012.1.11)	59.6	分譲住宅	道様遺物なし	市14
57 大井東台644-9~1の一部		(2013.4.5~10)	31.4	個人住宅	道様遺物なし	市18
58 大井東台625-1		(2014.7.3~8.4)	1,175.47	店舗	鐵文中期住居跡15、土坑3、鐵文土器、石器	市20
59 大井東台633-6		(2014.7.15)	145.91	個人住宅	道様なし。土器片	市20
60 大井597		(2015.7.7)	687.77	個人住宅	道様なし。土器片	市22
61 大井東台639-25		(2016.9.23)	249.00	個人住宅	ビット2、鐵文土器、石器	未報告
62 大井東台636-17		(2017.12.25)	57.96	個人住宅	時期不明ビット1、遺物なし	未報告

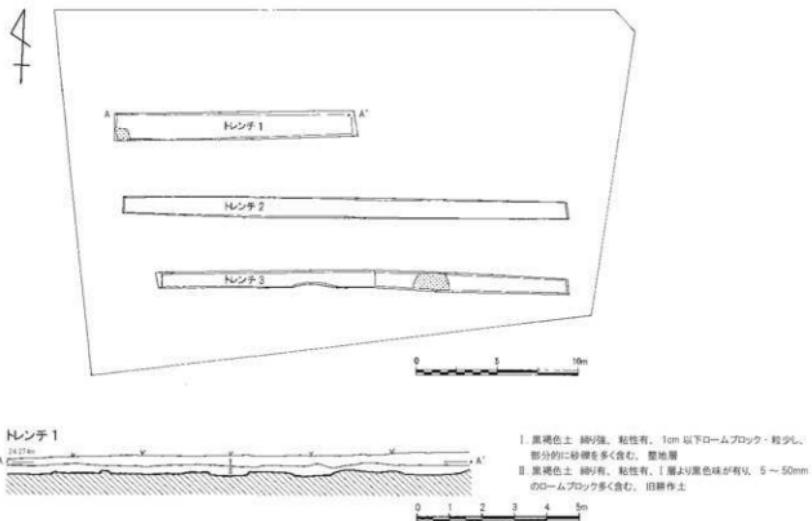
*由:大井町東台遺跡群。町:大井町内遺跡群。町役:大井町史資料室。調査会報告:大井町遺跡調査会報告。市:みよし野市内遺跡群

II 東台遺跡第60地点

(1) 調査の概要

調査は個人住宅建設に伴うもので、原因者より2015年6月19日付けで「埋蔵文化財事前協議書」がふじみ野市教育委員会に提出された。申請地は遺跡範囲の東部に位置する。申請者と協議の結果、遺構の存在を確認するため、2015年7月7日に試掘調査を実施した。調査は幅約1~1.5mのトレンチ3本を設定し、重機で表土除去後、人力による表面精査を行った。現地表面より30~45cm下で地山ローム層を確認した。

調査の結果、遺構・遺物は確認されなかった。写真撮影・全測図作成等記録保存を行ったうえで埋戻し、調査を終了した。なお、旧石器時代の調査は行っていない。



第87図 東台遺跡第60地点調査区域図(1/300)、土層(1/150)

第23章 まとめ

2015年度は試掘調査が48件、うち本調査となつたものが8件であった。ハケ遺跡第19地点、及び第20地点については、ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第22集『市内遺跡群21』(2018年3月刊行)で、その他の本調査についてはふじみ野市埋蔵文化財調査報告第20集『市内遺跡群19』(2017年3月刊行)にて報告済みであるため割愛する。よって今回は上記以外の地点について時代ごとに概観する。

【縄文時代】

縄文時代の遺構としては、まず西遺跡第2地点及び第3地点が挙げられる。第2地点で3軒、第3地点で3軒の縄文時代住居跡を検出した。いずれも本調査は実施していないため詳細は不明であるが、覆土中の出土遺物から概ね縄文時代中期の勝坂Ⅱ～加曾利EⅡ式期にまとまるものと考えられる。特に第3地点は1992年及び2007年に調査を実施した第1地点に隣接しており、同一の集落であると考えられる。今回の2地点の調査によって、さらに西遺跡の縄文時代中期中葉から後葉にかけての集落範囲の広がりが確認できた。

もう1点特筆すべきは西ノ原遺跡第164地点の調査である。今回の調査では縄文時代中期の屋外埋甕を1基検出した。埋設されていた土器は口径47.2cmを測る大型土器である。逆位に埋設されており、底部を欠損するという特徴を持つ。本地点の北側に隣接する第19地点及び南側に隣接する第70地点の調査でも屋外埋甕を検出している。1996年刊行の『西ノ原遺跡』によれば、両地点合わせて6基の埋甕を確認しており、いずれも加曾利EⅡ式期か並行関係にある曾利Ⅲ式期に該当する。また、6基とも逆位で埋設されており、他の遺構と複合しないという特徴を有する。本地点の屋外埋甕も時期・特徴とともに共通しており、両地点と合わせて一体を成すものと考えられる。大型の埋設土器を有する土坑は墓壙であった可能性が指摘されている。仮にいずれの埋甕が墓壙であるとすれば、本地点を含めた一帯は墓域であったと考えられる。今回の調査は西ノ原遺跡の集落における居住域と墓域との関係を考える上で、貴重な発見であったと言えよう。今後の調査に期待したい。

【古代】

古代の遺跡としてはまず滝遺跡第26地点及び第27地点が挙げられる。両地点合わせて3軒の住居跡を検出した。出土遺物から42号住居跡、44号住居跡は7世紀後半、43号住居跡は8世紀中頃以降に位置づけられる。滝遺跡のこれまでの調査成果から、古墳時代前半期(4世紀代)と後半期(6世紀)、そして7～8世紀にかけての住居跡が確認されている。特に7世紀後半から8世紀にかけて増加傾向にあり、今回の調査結果もこれを補強する。滝遺跡は、遺跡範囲に対して調査面積が多くないため、今後の調査が進めば集落の全体像の解明だけでなく、隣接する権現山古墳群との関連や、長宮遺跡、松山遺跡との関係などが明らかになるであろう。

川崎遺跡第42地点では平安時代の住居跡1軒を検出した。プランのみ検出のため遺構の詳細は不明だが、覆土上層から出土した土器から9世紀後半頃と考えられる。川崎遺跡では、現在まで古墳時代から平安時代中頃までの住居跡を80軒確認している。中でも8世紀の後半から10世紀初頭にかけて連続と集落が形成される傾向にある。特に今回検出した住居跡と同時期である9世紀代の住居跡が、現在判明している中で最も多い。また、縄釉陶器、灰釉陶器、墨書き土器が出土する住居跡や掘立柱建物跡も確認されており、古墳時代から10世紀後半まで続く集落形成の中でも最盛期であったと考えられる。

松山遺跡第84地点では、第45地点の調査で検出したH35号住居跡の北西隅を確認した。第45地点の調査では南側1/2の調査であったため、遺構の規模が明らかにならなかったが、今回の調査で504×480cmの住居跡であることが判明した。

【中近世・近代】

中近世にかけては各地点で多くの溝及び堀跡を確認した。以下に特筆すべき地点について言及する。

まず滝遺跡第26地点では溝2条を検出した。そのうち、北側に位置する溝1は東西方向に走行する。溝の性格や時期は不明であるが、規模や走行方向から、本地点の東側約50mに位置する第14地点で検出した溝2と同一である可能性が高い。

松山遺跡第82地点では南北方向に走行する堀跡1

本を検出した。断面は薬研状を呈している。これまでの調査で、1999年試掘・5、2001年試掘・3、2004年試掘・5、第43、45、62、64地点の各地点において確認された堀跡に続くものである。土層の観察から耐水していた形跡が見られないため、水路のような役割ではなかったものと考えられる。第43地点以北に関しては未調査であるため、全長がどのくらいの規模であったかは判然としない。しかし1795（寛政6）年の「福岡村・中福岡村・福岡新田絵図面」（富田初美家文書）を見ると、江川から北側の田んぼへ水を引くための用水が描かれている。現在も残る長宮氷川神社の位置や古い道路等を踏まえて考えると、今回第82地点で検出した堀跡はこの絵図面に描かれた用水路に当たる可能性が高い。今後、北側部分の調査が進むと全容が明らかになるだろう。

近代では、大井氏館跡遺跡第26地点の調査で大井宿関連の遺物等を確認した。特に遺構は確認されなかつたが、調査区南側のトレーンチ内で炭化物と焼土が集中する土層が確認された。おそらく明治期に大井宿で起きた3度の大火に関連するものと考えられる。3度のうち、どの時期の火災が原因なのかはわからないが、本地点は大井宿下組に位置していることから、下組で被害の出た1度目または2度目の火災に関連するものではないかと推測できる。

最後にハケ遺跡第16地点出土人物埴輪の破片分析について報告する。ハケ遺跡第16地点は新河岸川右岸に位置し、隣接する第19地点と合わせて古墳時代後期の古墳群である。本地点では、周溝の一部から人物埴輪をはじめとする多量の埴輪が出土し、これをハケ遺跡古墳群1号墳とした。調査の詳細については、『ふじみ野市埋蔵文化財調査報告第22集 市内遺跡群21』の中で報告済みである。今回、平成31年1月23日付で市指定文化財に指定された人物埴輪7点に使用された胎土の産地を特定するための調査として、海綿骨針（白色針状物質）混入の有無の調査を埼玉県立川越女子高等学校の松岡喜久次氏に依頼した。結果として、わずかではあるが海綿骨針（白色針状物質）が確認された。このことから、ハケ遺跡古墳群1号墳出土の人物埴輪は、比企丘陵の土を使用して製作されたことが判明した。通常、材料となる粘土等は製作地の近辺で調達したものと考えられるため、これらの人物埴輪も比企丘陵の近くの工房で製作されたものである可能性が一段と高くなった。

〈参考文献〉

- ・大井町史編さん委員会編 1988 『大井町史 通史編 下巻』
- ・大井町遺跡調査会編 1996 『西ノ原遺跡』
- ・上福岡市教育委員会・上福岡市史編纂委員会編 2000 『上福岡市史 通史編 上巻』
- ・埼玉県大井遺跡調査会 2009 『大井遺跡調査会報告第21集 中沢前遺跡Ⅰ・本村遺跡Ⅴ・大井宿遺跡Ⅰ』

附 編

ふじみ野市ハケ遺跡出土の埴輪の破片の分析

松岡喜久次（埼玉県立川越女子高等学校）

1 分析対象

A : 14 ハケ 16-H5

B : 14 ハケ 16-No.13

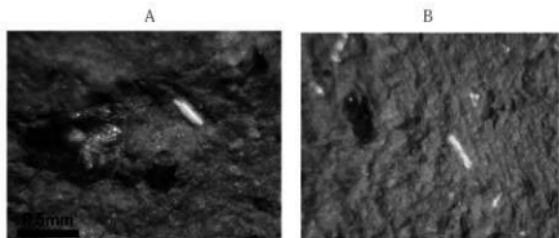


2 分析方法

- (1) 表面観察
- (2) 切断面の観察と薄片の作成による鉱物観察
- (3) 試料の粉碎とフッ化水素酸で処理し、残渣の観察

3 分析結果

- (1) 表面観察



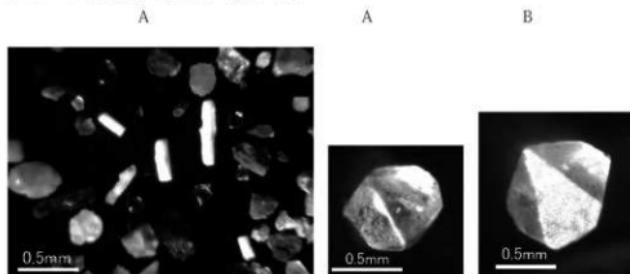
AとBの試料の表面に、白色の針状の物質（海面骨針）がわずかに確認できた。長さは、それぞれ0.3mmである。

- (2) 切断面の観察と薄片の作成による鉱物観察



AとBのそれぞれの試料には、多くの砂粒子が混在している。石英、チャート岩片が多く、長石、輝石、砂岩岩片、結晶片岩岩片が少量みられる。石英の外形は角ばっているが、チャート岩片はやや丸い。

(3) 試料の粉碎とフッ化水素酸で処理し、残渣の観察



試料Aの残渣から5本、試料Aの残渣から1本の海面骨針がみつかった。海面骨針は白色の円筒形をし、長さ0.5mmである。放散虫化石はみつからなかった。また、試料AとBから丸い石英や六角錐をした石英が多数みつかった。六角錐をした石英は、本来12面体の形をした高温石英の結晶であるが、一部が欠けている。

4 考察

海面骨針の産出はわずかであったが、埴輪の胎土に海面骨針が含まれる土が使われたと考えられる。松岡・鈴木(2014)および松岡(2014)は、須恵器から多くの海面骨針や放散虫化石を抽出し、比企丘陵に露出した粘土が胎土として利用されたと推定した。海面骨針を多く含む土は、深海性で放散虫化石を含む可能性が高い。埴輪の破片を大量に処理すれば、放散虫化石がみつかると考えられる。埴輪に海面骨針が含まれていることは、これまでの研究から比企丘陵で製作されたものと考えるのが妥当である。

また、高温石英の結晶が多数みつかったことから、高温石英を含む胎土を利用したことが明らかとなった。大澤ほか(1993)により比企丘陵の南東部において高温石英を含む火山灰質シルト層が発見されている。この地点は東松山市の桜山埴輪窯跡の近隣にあることから、桜山埴輪窯跡の周辺にも高温石英を含む火山灰質シルト層が露出していたと考えられる。

以上のことから、埴輪の胎土は比企丘陵の海面骨針を含む土と高温石英を含む火山灰質シルト層の土が利用されたと考えられる。一方、チャート、砂岩および結晶片岩の岩片は、都幾川や越辺川により由来されたものと考えられる。

文献

松岡(2014)須恵器に含まれる海綿骨針について、地学教育と科学運動、73: 53–56.

松岡喜久次・鈴木紀穂(2014)須恵器(土器)から発見された中新世中期の放散虫化石と胎土の起源となった層準の推定、地球科学、109:114.

大澤進・榎井尊・間室幸仁(1993)岩殿丘陵より産出した *Fagus microcarpa* を含む植物化石群、埼玉県立自然史博物館研究報告、11: 7376.



鶴ヶ岡遺跡第7地点調査風景



鶴ヶ岡遺跡第7地点土坑完掘状況



鶴ヶ岡遺跡第7地点トレンチ8



鶴ヶ岡遺跡第7地点出土遺物



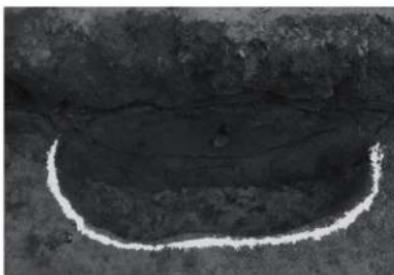
西遺跡第2地点24号住居跡



西遺跡第2地点25号住居跡



西遺跡第2地点26号住居跡



西遺跡第2地点土坑1